

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設(1-30)、MOX施設(1-30)）」

2. 日時：令和3年5月26（水） 13時30分～16時05分
16時15分～16時55分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査専門職、森野安全審査専門職

日本原燃（株） 村野 理事 再処理事業部副事業部長 他23名

東京電力ホールディングス（株） サイクル技術グループ
グループマネージャー

関西電力（株） 原子力事業本部 原子燃料部門
原燃計画グループリーダー 他1名

中部電力（株） 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

四国電力（株） 原子力部 燃料技術グループ 担当

北陸電力（株） 原子力部 原子燃料技術チーム 主任

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載していません。

発言者による確認はしていません。

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和 2 年 1 2 月 2 4 日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html

- ・ 令和 3 年 5 月 1 8 日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和 3 年 5 月 1 9 日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	原子力規制庁の武田です。
0:00:06	それではただいまから、日本原燃株式会社等のヒアリングを開始いたします。
0:00:12	本日のヒアリングは例は2年12月24日に申請があった設工認申請につきまして、5月1089に提出された補足説明資料をもとに、事実確認を行うヒアリングになります。
0:00:28	本日の進め方についてなんですけれどもまず補足説明資料についての確認を行う前に、先日5月25日に開催された審査会合での指摘を受けまして、今後の原燃の対応スケジュール等について確認をしていきたいと思っております。
0:00:47	まず基礎では議題入る前に規制庁側の出席者なんですけれども、本庁からはハバサキ。
0:00:56	カミデ
0:00:57	だけど、
0:00:59	そしてWEBからの参加がキシノ、それからね、コサクモリノになります。
0:01:08	それでは日本原燃のほうも出席者の確認をお願いしてもよろしいでしょうか。
0:01:14	はい。日本原燃の藤野です。本日の出席者ですが、再処理事業部から村のオオクボの中発送富士の土建部からフナコシの駆動トガシウラバヤシ
0:01:29	フジワラ、スガワラオガセそうだ。
0:01:34	耐震グループで佐川菊地、吉田稲場
0:01:40	判然ユーティリティー課から原田時田中石橋佐藤
0:01:46	MOXのほうから高松谷口と以上となります。
0:01:53	規制庁タケダです。はい、出席者の確認、ありがとうございます。
0:01:57	それでは最初の議題の方に入っていきたいと思えます。
0:02:01	先日の5月25日審査会合を受けての
0:02:06	指摘等を踏まえまして今後の対応等について確認したいと思えます。それが一度ではお渡ししてもよろしいでしょうか。
0:02:17	はい規制庁津金です。先日5月25日、昨日介護ったんですけれども、その際に今後その基盤モデル等について具体的なデータを示した上で説明するというお話ありました。
0:02:32	次回の6月の会合で、それはかける予定なのか、またその6月の会合を地盤モデル以外について、議という会合にかけられる案件がどんなものがあるのか、今何を計画しているのかというのはちょっと事業者の方から説明していただけますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:54	はい。日本原燃の船越です。6月21日の会合に向けて、建物耐震関係で、現時点でかけたいと考えておりますのは、
0:03:09	地盤モデルに関するお話。
0:03:13	あとですね、それから、
0:03:16	地下水置換地下水の検討に関するお話、それから、隣接建屋の影響検討の三本についてかけたいと思っております隣接建屋のほうについては、
0:03:32	ちょっと今まだ三次元モデルによる解析は現在実施中でございますが、ちょっと状況を見てというところもありますが、目標感としてはぜひかけたいと3分かかけたいと思っております。以上です。
0:03:51	規制庁津金です。
0:03:52	今のご説明あった通り、6月21日の会合に向けて準備されるということなんですけれども、月曜日に提出されたスケジュールを見ていると、例えば地下水たに関しては、資料提出したと1回説明があって、
0:04:08	その1回だけで会合になってしまうって感じるスケジュール立てられているんですけれども、この20きちっと見せて未決日出していただいたスケジュールっていうのは、現実的に、
0:04:22	よく検討されたものがあるんでしょうか。
0:04:35	はい、説明のフナコシです。
0:04:38	えーとですね。
0:04:39	あ地下水位の検討について。
0:04:43	6月、
0:04:46	9日に
0:04:47	補足説明資料のか修正版を提出するというスケジュールを出させていただいておまして、スケジュール的にはタイトなんですけれども、これで何とか21の最後に向けての
0:05:02	調整をさせていただきたいと考えているところでございます。
0:05:09	以上です。
0:05:11	規制庁津金です。1、今のスケジュール感だと1回ヒアリングやってそれでってなってしまうんですけれども1回ヒアリングするだけ十分会合に耐えられる企業出せるという確信を持って、
0:05:26	このスケジュールを立てられているということでしょうか。
0:05:33	日本原燃の船越です。
0:05:36	ですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:39	6月の14の週に今ちょっとヒアリングが16に設定されておりますができましたらば、14の収納前半に1回させていただいて広範囲にもう1回というふうに組みさせていただければありがたいと考えております。
0:05:58	ちょっとこちらの希望でございますが、
0:06:02	以上です。
0:06:04	きちっとツガネです介護で部長も言った通り、こちらがちょっと高い方向を希望されるということであれば我々対応しますし、それに向けてのヒアリングスケジュールを組まれてこういう形でやりたいということであれば対応しますが、
0:06:19	きちっとですね準備が会議の準備が整うようにスケジュールを組んで対応していただきたいと考えているんですけれども、このスケジュールだと明らかにフナコシさんの説明と異なっているので、ちゃんと介護見据えた形で
0:06:36	スケジュール立ててやる意味会合に臨んでいただきたいと思っておりますがいかがでしょうか。
0:06:43	はい。仕上げた形でもっていきたいと考えております。
0:06:48	よろしくお願いいたしますと思います。
0:06:50	以上です。
0:06:53	きちっと詰めるです。
0:06:54	修正されたスケジュールが若干、例えば本日中には出されるということでもよろしいですか。
0:07:16	ひろぎんの藤野です。ちょっと事務局のほうでも調整して、本日多数出せるようにちょっと調整したいと思いますのでよろしくお願いいたします。
0:07:26	規制庁津金です。よろしくお願いいたします規制庁のほうでも延べWeb会議システムの確保だとかありますので、なるべく早めに出していただくようお願いします後の基本方針関係がまだちょっと
0:07:41	共通0607見据えてっていう形でまだ完全に固まってないような組織を出す時期がまだ6月の頭ぐらいになってるんですけどこちらの進捗状況をどのようになっているのでしょうか。
0:07:53	日本原燃の淵野です。共通0607の展開下げのほうは社内的にはもう始めているんですが、トーモクその横並びであったり、ちょっと起債のそのてき、こうするの時間かかるような部分もあるのでそのあたりちょっと見据えて詳細なスケジュール再度設定させていただきたいなというふうに考えております。
0:08:14	規制庁津金です。今資料をまとめて出してヒアリングまとめて1回でってなってるんですけど、おそらく現実的でないの、できたところから適宜ラッピング行うという形で対応していただければと思っておりますがいかがですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:28	小野建の藤野です。そのようにお願いいたしますできたところから順番に提出させていただきます。
0:08:36	規制庁の津金です了解しましたと6月の会合に向けてのスケジュール感というのはわかりましたので、適宜対応していただきたいと思います。私から以上です。
0:08:51	はい、規制庁の武田です。はい、ありがとうございます。その辺ちょっと聞き逃しているのかもしれないんですけども、地下水の補足説明資料の提出が5月24日付のものと6月の
0:09:08	そういった提出予定となっているんですけど、先ほど9日に出されるということなんですけど、これが伸びるということですか。
0:09:22	日本原燃の船越です。はい、そういうことでございます。
0:09:27	以上です。
0:09:46	すいません。規制庁カミデです。今建物
0:09:51	ほかのみの話を行っちゃったんですけど、起電関係も介護案件として何か予定しているものがあれば、そのスケジュール含めて説明いただきたいんですけど、よろしくお願いします。
0:10:06	はい、日本原燃佐川です。今のカミデさんの御指摘に対しまして切れん案件の中で論点として説明しなければいけないとして残っていたものとしましては、水平2方向の分類の考え方ってところになってございまして、そこにつきましては、本当5月31日に、補足説明し、
0:10:26	いやを提出する予定としてございまして、ただですね、そのヒアリングっていうところにつきましては、基本方針との連続性で説明するということになってますので、31日に提出した後、9日に説明するってことで今スケジュールがさせていただきます。そこで説明した上で審査会合の中で、
0:10:46	説明したいなということを考えてるっていうのが記念の考え方になります。以上です。
0:10:55	規制庁カミデです。
0:10:58	今の話だと31に刑事変わって、
0:11:04	9日ヒアリングとちょっと私、
0:11:10	私のポイントと16にヒアリングの予定と聞いてたような気がしたんですか。日本原燃さんがですね、ちょっと言い方足りなかったですね、9日に基本方針を提出しますっていうところで提出を一周間っていうルールがあったと思いますので、なので31日に資料が提出するんですけども、基本方針の設定
0:11:30	説明の16日に合わせて説明するというので今予定を提出しているということになります。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:38	規制庁カミデですわかりましたそれであと介護案件にはするということですよ ね。
0:11:44	はいその通りです。そのように考えてございます。
0:11:48	はい、わかりました。31日の資料を確認した上で必要に応じ確認、前に確認 が必要であればそういう対応もしていただければと思いますのでまず資料の 提示をスケジュール通り、
0:12:05	進めていただければと思います。以上です。
0:12:09	日本原燃嵯峨です。了解いたしました。
0:12:14	規制庁の土野です。
0:12:16	音声コードの話でちょっと私5月24日2日前に出たスケジュールで確認した いことがあったんですが、地下水の件は、その数字スケジュールからさらに1 週間延びて、
0:12:32	6月9日提出、6月24日の修理費やっていう話だったんですが、
0:12:37	そうすると、登録という位置にかけたいとおっしゃってた地盤モデル隣接も5月 24日に提示されたスケジュールから変更になるということでしょうか。
0:12:54	ちなみに、地盤モデルは、今日やったと、6月の9日ヒアリングメニューに入っ てますし、隣接も同じく6月9日に入ってるんですけど、これも変更になる見通 しということでしょうか。
0:13:26	日本原燃通してございます。すいません、あとまずですね地盤モデルに関しま してはこちらのほうのスケジュールの記載の通りでございまして1日の日に資 料のほうを提示させていただきまして、9日の日にヒアリングといったところで 進めさせていただきたいというふうに考えてございます。
0:13:43	また隣接建屋の影響度評価でございますけども、こちらは先ほど船越からお 話あったところでございまして現在の三次元の対応のほうを実施しているところ でございまして、ちょっとこちらのほうで資料を訂正させていただいたときに は、こちらでも30への対応のところを少し反映し切れてないところがございま して、
0:14:00	今現状ですね2ふるさとへの影響評価につきましては、資料の提出のほうか 解析を含めると、最速でも少し6月の11日ぐらいですね資料のほうでさし ていただきまして、翌週の重要な週にちょっと2回ヒアリング等も実施させてい ただくといったところに対応の方させていただきたいというふうに考えていると ころでございます。以上でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:23	規制庁金です。わかりました。ちょっと地盤モデルについて教えてくださいこれは 24 日スケジュール関わりの見通しということなのですが、今日やって、次 6 月 9 日のヒアリングで説明する予定の内容って、
0:14:38	どの辺りまでなんでしょう。昨日の会合で今後説明しすって言った項目が一通りそろそろような説明になるのか、それのあるところまでってということになるのかそのあたりの見通しを教えてくださいいただけますか。
0:14:54	はい、日本原燃のトガシでございます。本日御用意させていただいてる資料に関しましては解析検討ところが
0:15:03	現状ついてないというような形になってございます。ですのでこちらのほうの解析検討を入れ込んだ内容のものとしたしまして 6 月のこの 1 日の日にですね、こちらのほうの資料のほうの改訂版といったところをさせていただこうというふうを考えてございます。
0:15:18	ですので 6 月 9 日の日につきましては、解析結果のほうを全般的なところを御説明させていただきたいというところを考えているところでございます。以上でございます。
0:15:28	貯金です。わかりました。あれですかね、燃料加工建屋と冷却塔の直下を用いた解析の結果がこれまでいろいろと指摘をした条件も踏まえた形で、
0:15:44	出てくるというふうに理解しましたけど、そういう理解でよろしいですかね。
0:15:49	次お願いトガシでございます。その通りでございます。
0:15:53	規制庁キシノです。はい、わかりました。
0:16:06	規制庁の武田です。それではスケジュール関係につきましてその他規制庁側からございますでしょうか。
0:16:19	よろしいでしょうか。
0:16:22	はい。それでは補足説明資料のほうの事実確認に進めたいと思います。
0:16:29	それではですね、日本原燃のほうから説明を補足説明資料の説明順について説明いただけるでしょうか。それとする説明資料の達成目標などまず説明資料ごとにお話ししていただければと思います。
0:16:51	日本原燃富樫でございます。本日の進め方といたしましては、まず建物耐震系のほうで出させていただいてございます耐震建物 05 といたしまして建屋側面ばね及び地盤のひずみの特性の評価手法について、こちらの方
0:17:07	前回のヒアリングの際にいただいてございます。コメントのほうを反映させていただきましてディビジョンという形のところで議論をさせていただいているところでございますのでそちらのほうの内容の方確認いただきたいといったところが耐震 05 の趣旨でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:23	また続きまして耐震の 08 といたしまして、地震動応答解析におけます地盤モデルの及び物性値の設定について、こちらのほうの資料といたしましては、解析結果のほうを含んでおりませんけれどもそれ以外の部分につきまして当社のほうで考えてございます設計用地盤モデルの
0:17:42	妥当性関係日本については本日の資料の中で御確認の方実施させていただきたいといったところがこちらのほうの資料の位置付けという形になってございます。
0:17:52	続きまして、耐震で建物大正 12 といたしまして、一関へ東評価用地震動過去鉛直に対します影響評価でございますけれどもこちらの資料といたしましては今回初めての資料となっておりますので、資料の位置付けも含めましてご説明をさせていただきたいといったところが資料の
0:18:10	位置付けとなっております。以上の順番ですね、当社としましては、本日説明の方させていただきたいというふうに考えておりますのでよろしくお願いたします。
0:18:25	規制庁の武田です。はい、ありがとうございます。
0:18:29	それでは建物の耐震建物 0 孔のほうから順番に事実確認を進めていきたいと思えます。資料については成長側では 1 / 一通り資料の確認はできていますけれども、日本原燃の方から補足で説明する内容等がありましたらお願いいたします。
0:18:54	日本原燃富樫でございます。こちらのほうの資料といたしましては、冒頭のほうで御説明させていただいた通りでございます。前回の資料ヒアリング再任いただいているコメントに対しましての Rev といたった形のほうでかけているものでございます。特にこちらのほうの追加の当社からの説明事項等がございます。
0:19:13	よろしくお願いたします。
0:19:18	はい。規制庁タケダです。それでは耐震建物 05 のほうから RIS 確認を規制庁側からお願いいたします。
0:19:36	施設、
0:19:38	規制庁川崎です。
0:19:40	私のほうからちょっと二、三点、確認したいと思えます。まず 10 ページに側面ばねの評価方法ということで、今のままずっと評価要素法という栄養双方向使い分けるフローが出てますが、これ。
0:19:59	前回のヒアリングでも聞いたかと思うんですが、境界要素法等有限要素法の使い分けについて、どういう条件なら影響通う双方という条件なら有限要素法という、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:15	その理由を書いて説明してくださいという話をしたかと思うんですが、それに対する回答はどこにあるのでしょうか。
0:20:32	日本原燃の藤原でございます。ハバサキさんから今御指摘のあった質問について申し訳ございません、ちょっとこちらのほうで、
0:20:41	認識しておりませんでして、記載のほうで来ておりませんでした。
0:20:46	なのでちょっと今口頭でその使い分けの考え方について御説明させていただいてもよろしいでしょうか。
0:20:53	規制庁浜崎です。はい口頭でまず結構ですのでお願いします。
0:21:03	日本原燃強度でございます。その使い分けについてなんですが、こちら有限要素法におきましても、教科予想におきましても、どちらも同等に確からしい値が出るものとして考えておりまして、使い分けのほうは考えておりません。
0:21:20	以上になります。
0:21:23	規制庁ハバサキです。そうしますと12ページに各建屋ごとの側面ばねの評価方法の説明があるんですが、
0:21:35	ちょっと言葉は悪いんですか行き当たりばったりでその解析方法を採用してるって理解でよろしいんですか。
0:21:46	日本原電の藤原でございます。説明補足させていただきますと、設計を委託している20社の方が持っている解析コードの違いによって使い分けているという実態がございまして、それぞれについて適切性を確認して
0:22:03	徹底しているということで、当社としての判断といたしますか。
0:22:08	全くなものであれば許容しているというところでございます。
0:22:14	規制庁合わせケース了解しましたいずれの手法につきましても弱で
0:22:21	記載されてます手法ですのでですねどちらかではないとまずいとかどういう理由がないとまずいという話ではないとこちらも理解してるんですけれども、何らかの話、
0:22:38	私が今申したような話なりですね、
0:22:42	どちらも用いても問題ないっていうようなことをもう少し強調して書いてもらえればいいのかもかもしれませんが、いずれにしても、選定の考え方。
0:22:55	は、
0:22:58	示してもらいたいと思いますので、結果的に
0:23:03	こういう条件なら、こちらにするというものはないけれども、どちらも弱で採用されているから問題ないと考えるというようなことを書いてもらえれば、納得いきますんでですね、ちょっと現状としてはどうしても意義といたしますか、疑問に思いますので、そこら辺の記載を充実を
0:23:22	してもらいたいというふうに考えます。可能でしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:29	日本原燃のフジワラでございます承知いたしました。そのどちらを用いても問題ない旨きちんと丁寧に記載したいと思います。
0:23:38	はい、では次に規制庁ハバサキですけれども、11 ページのところに今回下のほうにですねアンダーラインつきで記載を追加してもらってる箇所ですので、これは堂々とかですね。
0:23:55	建物の建家地下部に関しては、側面の埋め込み
0:24:03	領域として接触領域として評価しますと、その理由が①②と書いてありますんで、まずちょっと事実確認なんですけど、今ここの話が①に書いてあるんですけど、
0:24:19	①のちょっと2行ほど上にですね、建屋地下部についても同様な場合は、接触面積として考えているんでしょうか。
0:24:36	今原燃の藤原でございます。地中構造物について堂々と建屋地下部と書き分けておきまして、①については、どうどう丸については建屋地下部の記載をしておりますので、①の記載は建屋地下部には開設どうどう穩便の記載となっております。
0:24:57	規制庁ハバサキですわかりました今の説明でわかりました。それでしたら①はどうもあるに関しては建屋地下部というようなはちょっともう少しわかりやすくしてもらいたいと思いますんで、配当それをもって検査①の胴に関してですけれども、
0:25:14	接触面積として考慮するならばその理由をということでここ書いてもらってるんですけども。
0:25:23	ここにその選考発電炉での実績を踏まえて書いてあるんですけどこれは具体的にはどの発電炉の実績になるんでしょうか。
0:25:33	日本原燃の布田でございます。確認した資料につきましては柏崎7号の補足説明資料も確認して
0:25:41	おります。以上です。
0:25:44	上げです。当柏崎Tにはどうどう、
0:25:49	同というものは無いと思うんですけども、他重要土木構造物のトレンチ等、
0:25:55	ということでしょうか。
0:25:58	日本原燃の布田でございます。地下部のトレンチを堂々と御誓いで今回私たち評価しました。
0:26:09	規制庁ハバサキですえと柏崎以外は見ていないという理解でよろしいですか。
0:26:19	日本原燃の藤原でございますが、東海第2についても確認をしましたがちょっと資料中明記されていなかったのを、
0:26:27	できたのは東海柏崎移動ということでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:33	規制庁ハバサキです。当 2 の場合も、確かに堂々というような形になりそうと遠地というような形での明記がないんですが、例えばその近接する建物の基礎に関しては面積から除外しているという資料があると思います。
0:26:49	それと、ちょっと線は時間的には差異先になるんですが、PWRの先行例を見るとですね、やはりこういう建物等接続されているような構造物に関しては、接触面積から
0:27:06	外している。
0:27:09	場合が多いというふうに考えてますんで、今プロパーの場合は、この同等部分は接触面積として入れないと何か普通不都合がある、そのような状況があるんでしょうか。
0:27:37	日本原燃強度でございます。
0:27:39	接触面積に関して 75%以上のものは全接触としてみなしておりますので、具体に関しては何も影響ないのですが 75%を切るような実情の接触率を反映しまして、解析しているようなものに関しましては、今回どう部分についても、
0:27:57	接触部として考慮しておりますので、少しその点が違ってくるということになっております。以上でございます。
0:28:09	規制庁浜崎です。だいたい理解しました。その扱い等を算出してるのはどうだけですか。どうぞ以外の何か建物と接続するような構造物等も対象になってるんでしょうか。
0:28:28	はい。
0:28:33	日本原燃の渚野です。
0:28:35	ございます。こちらどうだけでございます。
0:28:38	規制庁ハバサキです。わかりました。一応どうだけに関しては 6ヶ所サイトは接触面積に相当するという事で扱うということは事業者の考えとして理解しました。で、それについてですねもう少し損先行基ともあわせて、
0:28:56	適切かどうかについて、事業者にとってもちょっと確認をしてもらいたいというのが 1 点、それから、11 ページに書いてあります。説明堂々と
0:29:12	①のところなんですけど同等部分の重量についても、この前のとか、と付着作用によって挙動が 1、1 回隣等々、
0:29:24	こういう説明だと、じゃあ付着付着力はどうなのとかそういう方向にいつてしまうんですけれども、
0:29:31	今、もう少しなんていうんですか、簡便にどうどうは他接触地盤としてみなせるという利用理由ってというのはこれは何かないんでしょうかちょっと不
0:29:47	こういう形の書き方をされるますと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:50	どんどん深みに入って審査の方もですね厳密な審査が必要になってきてしまうんですけれども、いかがでしょうか。
0:30:09	日本原燃ウラバヤシでございます。承知しました。ちょっとこれ前回のヒアリングでやりとりした内容をハバサキとのやりとりした内容を反映させていただいたんですが、ちょっとそれでは不十分だというためにはまるという。
0:30:25	ご指摘をいただきましたので、単純に運行なものを
0:30:31	密実なものを置き換えても差し支えないとか、そういった形で考えていきたいと思えます。以上です。
0:30:40	規制庁ハバサキですね、規制庁の浜崎です。
0:30:43	もう1回ちょっと考え直した形でこちらのほうとしても確認したいというふうに思っています。
0:30:52	えっ。
0:30:57	すいません規制庁カミデですとちょっと横から確認なんですけど、今の堂々の
0:31:03	接触面積の件なんですけど、まず柏崎刈羽を参考にしたというところなんですけど、どの程度その再処理における洞道等、その柏崎刈羽のものが同じなのか。
0:31:19	どういう形で確認したのかももう少し説明いただけますか。
0:31:29	日本原燃強度でございます地下トレンチの取り扱いにつきましては、この柏崎の資料のほうでも記載はなかったんですが、／受注の方確認しますと、具体的に申し上げますと、⑥番、6号のRBとコントロール建屋の間に地下トレンチがかなり
0:31:48	大きな範囲で入ってるということを図の中で確認しましたので、
0:31:56	あそこら辺までの産経の方見てみますと、こちらのほうも接触面として、
0:32:02	考慮しているというふうにこちらの認識することができましたので、このように潜航発令普通での実績も踏まえというふうに期待していただいておりますようになります。
0:32:14	規制庁カミデです。そうとすると、設計の結果だけを読み取ってええまあ適用してみたというようなところかと思えます。やはり気になってるのはですねその構造として、再処理。
0:32:31	なんですけど、堂々と建屋の来スパンで縁切ってるってところがあって、本当に力が伝達されて拘束効果が得られるのかというところが気になってるところです。層厚について、先行炉で、
0:32:48	示している評価内容なりなんなりというものがあれば、それを参考にさせていただくと我々も確認しやすいというところなんですけど、そういうものは今存在していなくて、なぜ拘束効果が見込めるかという、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:06	ところについては再処理として今オリジナルで説明をしにいくということですか。
0:33:22	日本原燃の布田でございます。
0:33:24	今ほどの規制庁さんからの御指摘踏まえまして、ちょっとこの道道部分の取り扱いについては再度考えたいと思いますが、今回申請しているPARにつきましては、洞道の部分の色としても結果は変わるものではなくですね。
0:33:41	かつ4 もう一つの案については埋め込みがないので、この内容でいきたいと思っておりますから次回で洞道の部分と2につきましては、本取り道道部分を接触面積等を考慮しない場合の影響検討と比較した上で、
0:33:57	今回審査の中で別途説明させていただきたいとございます。考えております。
0:34:06	規制庁カミデです。
0:34:09	基本的には第1回申請でそのあたりも含めて確認したいなというところでありまして、こういう理由で切り分けができるんだということであればそれでも構わないですけど
0:34:24	感覚としてはどうどうもっと大きな面積ではないので、さほどですね、影響がないのではとそれをこれかなり不確かさがある部分で拘束効果あるかもしれないしなないかもしれないというところだと思っております。
0:34:41	基本的に設計の考え方としてはそういう不確かさはある部分は、保守側で見ておくというところが、
0:34:50	という説明であれば腑に落ちやすいというところなので、こういうXPAんで力は伝わらないようなところはまずは算定しませんと面積入れませんということであれば話を簡単なんですけどそうではないと。
0:35:07	いうことをですから、そう。その場合についてはきちんと説明をしてもらいたいというところですよ。
0:35:20	日本原燃の藤原でございます承知いたしましたの補足説明資料の29ページのところでの実情、今強度から申し上げた通り道路部分を除くとした場合に影響するのはですね、29ページで静止している表の4建屋、
0:35:40	mgでございますので、
0:35:42	そのあたりについては、渠おそらく影響はないと思っているんですけども、
0:35:47	影響を確認した上で方針を決めたいと考えております。
0:35:52	日本原燃ウラボヤシでございます。若干補足します。29ページのところで、周辺地盤との接触状況実情を考慮した評価というふうに評価手法が、
0:36:04	記載されております。前処理分離建屋とか制御分析※4建屋についてどうどうを見た場合になかった場合で条件が変わってくるといったものでございますの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	で、それ以外のほぼ多くの大多数の建屋は、当どうどう議論なくとも全体の中での
0:36:24	評価っていうのが可能ですので、大きな流れとしてはどうどうの取り扱いというのは、その工事会で影響評価をすることで、ほぼ残りすべてのものは説明し切れるものと考えてございます。以上です。
0:36:38	規制庁カミデです。ちょっと 29 ページのところを確認なんですけど、ここで言うてる今た 4 建屋ですかね。
0:36:52	日本原燃のフジワラです。その通りで、前処理建屋、分離建屋、制御建屋分析建屋の武井でございます。
0:37:00	規制庁カミデです。それで、この 4 建屋がバックの適用をにあたる 75%の判定に堂々関わってくるっていうところですか。
0:37:15	日本原燃の藤原でございます。この 4 建屋につきましては、技術情報を模擬した接触状況の実用考慮した評価ということで、FEMでAと評価しております、
0:37:29	離れている所接触していない接触時の摂取していると境界条件を設定して、①の評価をしております、今現状はどうどう部分については接触しているという条件で評価しているんですけども、
0:37:46	すみません。日本原燃ウラバヤシでございます。75%とかそういう判断に用いる敷地すつとに関わってくるといったものではございません。
0:37:57	なぜ、
0:37:58	あと、
0:37:59	規制庁カミデです。
0:38:02	わかりましたそういう意味だと先ほど言われていたところは次回でという話も少しは変わってきて、まずはここ今、補足説明資料においては、側面ばねの話で、特に検診は 75%の説明のところでは気になっているところなので、まず、
0:38:22	そこの話をしてもらおうと、あと 29 ページの話は 29 ページの話で、別な解析での扱いの説明だと思いますので、そこをきちんと明確にした上で、
0:38:39	再度整理した上でですね、この資料の説明いただきたいと思います。よろしくお願いします。
0:38:46	日本原電の藤原でございます承知いたしました記載のほうを見直します。
0:38:54	規制庁ハバサキです。
0:38:57	次に 13 ページのほうに移りまして一番最後のパラグラフのところですので、
0:39:04	これも前回のヒアリングでこちらから確認なったかというふうに思って記憶してまずけれども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:15	パスタ件数で2番の抜粋物性値のばらつきを考慮した場合に、
0:39:23	地盤のひずみが1%を超えた場合に関しては、側面ばねはつけたままにしますと、要は基本係数で1%子供に関しては、外すんですけれども、ばらつきのケースでは1%を
0:39:39	こう言っても、
0:39:41	考慮しますということでその理由が最後のパラグラフに書いてありますんで、その場合はその層が部分的であるから、影響がないというような趣旨の文章を書いてあるんですけれども、要は基本ケースで1%を超える場合と、
0:39:59	ばらつきを考慮して1%を超える場合のそのエリアの、例えば領域だとか、ひずみのレベルだとかそれはそんなに大きく変わるものなんでしょうか。いかがでしょうか。
0:40:14	日本原燃のフジワラでございます。減損ケースでは1%を超えず、ばらつきでは1%を超えるケースにつきましては、ばらつきを超えるケースというのは
0:40:25	1要素分というところでございます。
0:40:31	規程上ハバサキです。基本ケース1%を超える場合の領域というのはどのぐらいなんでしょうか。
0:40:58	日本原燃補助ので少々お待ちください。
0:41:51	日本原電の藤原でございます。私して申し訳ございません。すいません。今回の申請範囲で基本ケースでちょっと1%を超えているものがなかったので、
0:42:02	今確認できない状況でございました。申し訳ございません。
0:42:06	規制庁ハバサキです。これ基本件数で、その1%を超える領域が非常に大きくて、ばらつきケースは一応そうですか。一応想定これチェックですから、一層だと思っんですけれども。
0:42:25	その違いが、今この文章だけですとわからないのもう少し定量的に示してもらいたいのと、なぜ上も一応そうならバネとして、存続させていいのかという、そこら辺の理由について説明が必要かと考えます。
0:42:45	説明を
0:42:50	今の段階でできますでしょうか。
0:43:25	すみません、お待たせしております。日本原燃のウラバヤシでございます。と定量的にとりますと、ちょっと基本ケースで超えて、今現状持っておりませんので、具体的に何がどうなるかっていうところなんですけれども、
0:43:41	SERENAドルでも超えてるところの塗装定量的っていうところのニュアンスがちょっと私どもバックしかねておりまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:51	もう、もう少しお尋ねしてよろしいでしょうか。規制庁ハバサキです。これシェークの等価線形だと思うんで、サプライヤで買う、かなり薄い層程度の等価線形解析をやってて、
0:44:07	である一層だけが1%を超えますと、それも大したオーダーではなくてですね若干超えるんで、その周りを見ると、1%を十分下回っていると。だからある意味、平均化すれば全然問題ない範囲っていう
0:44:26	一つの理解ができます。ところが
0:44:30	もっと広い範囲で1%を超えているとなったら、
0:44:36	バラつきがある場合であっても、その領域の地盤までを見るというのはやはりおかしいというふうに判断できます。ですから、基本ケースで1%を超えたら即現場では外します。
0:44:53	ばらつきを考慮した場合の
0:44:56	Aについては、
0:44:59	考慮します側面ばねを考慮しますと、その差が、
0:45:04	その差をね、定量的に
0:45:07	説明をしてもらいたいという趣旨です。
0:45:13	わかった。
0:45:14	いただきましたでしょうか。
0:45:17	行目ウラバヤシでございます。飛ばせひずみは1%を超えてるかっていうその様相ば話はあるんですけども、
0:45:26	つまりというのを、
0:45:28	そこまでつけた場合とつけない場合でどっだけ影響があるかということなんでしょうか。
0:45:34	規制庁ハバサキですその応答の話ではなくて
0:45:39	なぜ基本ケースの場合は1%を超えてばねを外すのか、なぜばらつきの場合は1%を超えても、バネを考慮するのかを説明してもらいたいということなんで、応答までさかのぼるなくても建物の応答までいかなくても地盤の応答結果、
0:45:58	考察で説明をしてもらいたいという、こちらからの伊藤です。
0:46:06	ウラバヤシでございます。ええと地盤の非線形化の度合いっていうのをそれぞれのケース、それとバラつきましたケースでどれだけ広がって非線形化の範囲が広がっているかというふうに理解しました、そういう形で考査追加させていただきます。
0:46:22	結果ハバサキですおっしゃる通りですあの範囲と、あとその数値ですね、ひずみの大きさ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:28	比較して先、こういう結論に至ったということを説明してもらいたいということです。
0:46:37	よろしいでしょうか。はい、承知しました。日本原燃のウラバヤシです。ちょっとしました。
0:46:44	規制庁ハバサキです私のほうから最後になりますので、これに関しては記載だけの話になります。
0:46:51	資料の 24 から 26 ページにかけて、これは一般的な解法の説明の図の話だけの話です。
0:47:03	例えば 26 ページで基礎に相当する領域、そこを黒丸つきの 5 体として一体挙動するところとそうでない場合を使い分けてますんで。
0:47:16	例えば 24 ページの境界を双方の場合、ここも建物地下部とすると書いてあるところ、ここは同じように、統合体として一体挙動をするという境界条件
0:47:30	考えているという理解でよろしいでしょうか。
0:47:36	日本原燃共同で作ってございません。そのようなご理解で問題ございません。規制庁ハバサキです。26 ページに書いてありますので 24 ページにも書いていただきたいというと、あと 25 ページ、これに関しても基本的には一緒だと思いますので、
0:47:52	この基礎建屋地下部の境界条件について記載をしてもらいたいというのと、あと 25 ページに関しては、地盤のメッシュを周辺ですね、ここに関しても境界条件の置き方を説明をしてもらいたいと思います。
0:48:10	いかがでしょうか。
0:48:13	日本原燃強度でございます。承知いたしました。
0:48:17	規制庁川崎です。私、ハバサキの方からは以上になります。
0:48:36	規制庁のタケダですその他、規制庁側から確認事項ございますでしょうか。
0:48:48	この 2-1 でしょうか。
0:48:50	私の方から問い 2 点ほど確認させてもらいたいんですけども、簡単な話ではあるんですけど、6 ページ目のですね。
0:49:03	2.1. 2 の(2)の全周埋め込み年収埋め込みと同様の埋め込み効果を期待できない場合と指定によってこの報告書。
0:49:14	その結果を参照して実情を考慮して側面ばねを算定すればいいという報告をされているのでそれを参照しているということなんですけど。
0:49:25	こういった方法を用いるというのは先行炉でも実績ってあるのでしょうか。
0:49:47	日本原燃強度でございます。こちらのほうにつきましては、当社独自の方法であるというふうに認識しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:02	規制庁の武田です。これそれでは先行炉の実績はないけれども、NUPECでこういった
0:50:12	報告はされているから用いているというのは理解できました。
0:50:17	ではもうそのときにですねこの報告書の中では実情を考慮して、
0:50:25	まあね、3用いれば、
0:50:29	よい対応試験結果とよい対応示すということは述べられているということなんですけれど、この報告書の中で評価しているこのばねの評価の仕方等も今回日本原燃のほうで評価している方法、FDMなのか、評価要素なのか。
0:50:47	そういった方法っていうのは同じ方法を用いているということよろしいですか。
0:51:06	やっぱりという、日本原燃の藤原でございます。こちらNUPEC試験の報告書ではですね、解析条件窓どういうモデルを用いたかというところについては読み取れる記載がございませんでしたが、私たちが評価しているあの場につきましては、
0:51:22	FPの用いまして、実情忠実に再現しておりますので、その辺り妥当であるというふうに判断してございます。
0:51:33	規制庁ハバサキなんですけど先ほど6ページに書いてある方法は事業者とこっちの方ほうだっというふうに言われたんですが、具体的にはさっきのFMとか、評価要素法を用いてけ
0:51:48	側面ばねを考慮評価するっていう方法のことを言っているという理解でいいですよ。はいその通りでございます。で接触部分だけ実情忠実に再現しているということでございます。
0:52:03	規制庁ハバサキです。それでしたら、例えば直近ですと、柏崎のながらも、Tbとか、込めるかな。でも同じ方法を同じような形で検証してますが、
0:52:19	その話とは違うということですか。
0:52:28	日本原燃強度でございますが、先行の3におきましては、周辺を全面接触等して側面ばねのほうを算出しているというふうに理解しておりましたが、もう一度、いま一度先行のほう確認させていただきます。以上になります。
0:52:47	規制庁ハバサキです。
0:52:50	ちょっと確認してください。薄くファンと柏崎の例を見てもらって判断してください。
0:52:57	以上です。
0:53:04	規制庁のタケダですと、今ハバサキのほうで今お伝え伝えてもらった通りではあるんですけども、もし仮に実績がないということでしたらもうちょっとその適

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	用の妥当性についての説明と顔を追記していただく必要があると思いますがよろしいでしょうか。
0:53:24	はい、日本原燃の藤原でございます承知いたしました。先ほどの先行炉さんの事例についてちょっと確認した内容について補足させていただきます。私たちの認識といたしましては、柏崎3は損全面接触と見込める75%を切っているものについて、
0:53:42	影響評価をした上で、あまり影響がないから、全面接触として取り扱っているのに対して、当社は
0:53:51	全面接触したものについてはもう全面接触しないものとして評価していると、その点での差異があると認識しておりますので、その辺りの記載を踏まえてもう一度確認させていただきたいと考えてございます。
0:54:06	規制庁ハバサキです。おっしゃる通りです最終的な応答解析モデルとしてですね、どう扱うかに関して、もう少しじゃあの確認の上ですねこの記載に関して、
0:54:21	わかりやすくというか、丁寧な説明にしていいただければと思います。以上です。
0:54:34	規制インフラでございます承知いたしました。
0:54:39	規制庁の武田です。もう1個だけ確認なんですけれども、先ほどPA建屋と堂々との接触部分についての話がありまして、エキスパンションジョイントがあるということだったんですけれど。
0:54:55	その建屋部分とXPA処分をクリアされると思うんですけどその隙間の部分って何か緩衝材っていうのは入ってるんでしょうか。
0:55:11	日本原燃の
0:55:12	こちらでございます。乾燥剤は入ってございます。
0:55:20	規制庁タケダです。わかりました。当までは緩衝材を介して多少
0:55:27	相互作用みたいなのは生じるということですね実態として、
0:55:32	日本原燃のフジワラでございます。自己方向に対してはそういうものは採用するというふうに考えてございます。
0:55:39	規制庁タケダです自体について理解できましたありがとうございます。私のほうからは以上になります。
0:55:48	それでは建物05についての事実確認は以上になるかと思います。
0:55:55	続きましては、耐震建物08でしょうか。
0:56:01	こちらについて、
0:56:03	結構前回からリバイスが入っていると思うんですけど、補足説明補足で説明する内容がありましたらお願いいたします。
0:56:19	日本原燃のオガセでございます。こちら耐震建物08で地盤モデルのところの資料でございますが、冒頭のほうトガシの方からも言いましたけれども、今回

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	の資料につきましては解析結果等については抜けているようなものになっておりますので本資料の表紙のところですね投資の1ページの表紙のところ、
0:56:37	注書きということは注書きを書かせていただいております。本資料につきましてはこの資料の5月12日のヒアリングの際に御提示しておりますロジックベースで作成されたものでして、これ以降の昨日の審査会合でいただいた御指摘も踏まえてですが、それ以降に修正が必要になっているものにつきましては次回以降の改訂
0:56:57	何て反映をさせていただきます。具体的に今回入っていないものとしたしましては、地盤のシミュレーション結果、これにつきましてはの表層地盤を考慮するところにつきまして、これまでのヒアリングでご指摘いただいておりますのでその結果について次回つけさせていただきます。
0:57:13	あわせて先ほども申しましたけれども直下地盤の標高の評価の結果、これにつきましては次回の方から付けさせていただきます。こちらからの補足的な御説明につきましては以上でございます。
0:57:28	規制庁の武田です。はい、補足説明ありがとうございます。それでは成長がパラディス確認していきたいと思います。
0:57:36	規制庁側からコメントある言葉お願いいたします。
0:57:43	規制庁の土野ですけれども、ちょっと提案があるんですが、確認事項が結構多いと思いますので、訴訟ごとに区切って進行してはいかがでしょうか。
0:57:57	日本円トガシでございます。よろしく願いいたします。
0:58:03	拠出金です。
0:58:06	まず一つは、先般全般についてなんですけれども、ただいまご説明があったように、この資料は5月10日時点のロジックに基づいて構成しているということで、なので直下地盤本モデルを用いた検討結果等は4、
0:58:26	4とかですとかですね、資料全体の中で非常に小さな値に持っているということなんです、5月10日以降に、それは違うでしょうっていうようなことになって年物ための確認といった位置付けなんかもそうじゃないでしょうっていうようなことを言って、
0:58:44	確認した結果については、設工認の資料の中にも記載する方針でありましたし、昨日の会合資料の中でもとか地盤モデルについての検討というのは、他の説明項目と同等の重要な説明項目の一つという形で結構だと、ページ数歳です。
0:59:04	説明いただいておりますし、結果にかかわらず方針についてはもう設工認図書優先ということで機能も話が出ましたように、今後追加されるもん直下地盤を検討考慮に入れた解析結果っていうのは、それなりの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:21	重みというか、重要な説明項目とこれぐらい認識していますので、それに沿った形で、今後、
0:59:29	資料の構成を見直すというふうに理解してよろしいでしょうか。
0:59:32	日本原燃のオガセでございます。ただいまおっしゃっていたところの通りでございまして、我々といたしましてこちら資料作る時には5月10日ベースというふうにされさせていただいておりましたが、それ以降にこの直下地盤の評価につきましてはきちんと課題として、こういうばらつきで考慮しているものを超えるものがあるといったそういった課題からきちんと整理した上で重要になると。
0:59:52	評価であるというふうに認識いたしてございますので、それにつきまして、次の改定の際にこの資料のこの評価の資料上の位置付けも含めまして、ちゃんと格上げするような形で考えているところでございます。以上です。
1:00:06	規制庁機器ののですがそれでした。それで今回の資料の中にも昨日の会合資料の中でも、まだ何ヶ所かであったんですから、直下近傍のPS検層データに対して参照するっていうような表現も使われてましたので、3章ではないと思いますのでその辺りもですね。
1:00:24	適切な表現に改めていただきたいと思います。
1:00:29	日本原燃のオガセでございます。かしこまりました。
1:00:34	規制庁キシノです。
1:00:36	全体については、私のほうからは以上になります。
1:00:41	それから3この後の進行をお願いしてよろしいでしょうか。
1:00:44	規制庁タケダです。承知しました。
1:00:47	では全般につきましてその他確認事項ございますでしょうか。
1:00:54	はい、よろしいでしょうか。それでは、1ポツから5ぽつまでであると思うんですけども、まあ順番に症でくくって確認させていきたい、いただきたく思います。
1:01:06	1ポツは、この3ページ目だけかと思うんですけども確認事項ございますか。
1:01:14	こちらは、はい、ではこちら飛ばさせていただきます。
1:01:18	では、2ポツですね、石油地盤モデルの概要につきまして、ここから確認事項ある方お願いいたします。
1:01:33	はい。
1:01:35	こちらちょっとページも少ないですので、特にないかと思いますんでは3ぽつから括弧3ポツについて確認させていただきます。3ポツ設計を地盤モデルに係る確認項目ですね。
1:01:47	所確認がある方はお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:56	一つのキシノです。3ポツ目ですね、設計用地盤モデルに係る確認項目として、設計地盤モデルの設定の考え方ですとか、適切性などの御説明があるんですけども、
1:02:12	この3ポツ1のほうですね、設定方法が適切であることを確認するというふうにあるんですから、
1:02:23	設計のプロセスを詳しく説明していただいて、
1:02:27	入ってそれはそれでいいんですけども、今回の
1:02:32	直下地盤モデルを用いた確認というものにも繋がるんですが、耐震設計における保守性を保守的な配慮がなされているかっていうことを多くする等、今までいろいろと指摘しているわけで、
1:02:47	その一環で、この設計用地盤モデルの説明においてもですね、途端に適切ですよ、というよりは、このモデルの耐震設計に用いるにあたってできるとコスト的の結果が得られるように配慮した事項があれば、それも説明を入れていただければと思っています。
1:03:06	例えば、過去暗渠化といった既設工認のときに、今この設計経緯地盤モデル検証によって十分吟味して、
1:03:15	検討されて作成されてると思うんですが、ちょっとその家庭にですね、できるだけさかのぼっていただいて、おそらくその過程の中での平均的な速度境界を設定するにあたっては、エリア内の各施設の地震応答が保守的になるような
1:03:32	設定を意識して設定しているとか、物性値もですね、保守的な結果が得られたデータを取捨選択したところですね、或いはデータを採取した一番平面的にもし偏りがあったらそれも考慮して重み付け
1:03:49	補正をしたとかですね、何とか設定過程における設計を睨んで保守的な考え方があるかと思しますので、そういったところも加味して説明をしていただいたほうがいいと思いますし、説明が
1:04:06	できるものについてはできるだけ書いたほうが、そこにきちんとは考慮した上で設定されたモデルであるということがわかるかと思しますので、ご検討いただきたいと思うんですが、
1:04:19	今この時点で、例えばこういったことにしますよということを説明できるものがもしあったら教えていただきますと、
1:04:33	日本原燃の小野でございます。
1:04:35	今おっしゃったようなことをですね事細かにちょっと確認はしてございません。実際に今使っておりますその平均値に対してですね、統計的に標準偏差を使ってやるということで、
1:04:50	ある程度ですね、保守性を確認するというふうなことで考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:56	きっと。
1:05:01	規制庁コサクですけど、今の回答はとても信じられないというか、
1:05:06	そんな対応で、
1:05:11	原燃申請者、
1:05:13	外での
1:05:15	設計作業してるんだとしたら、設計としての品質管理がなってないんで。
1:05:21	ちゃんと大元の考え方というのを理解した設計をするようにしてください。
1:05:28	このような対応であればヒアリングをする意味がないんで。
1:05:33	改めて出直してください。以上です。
1:05:41	日本原燃のほうでございます。
1:05:44	ちょっと検討させていただきたいと思います。
1:05:52	そちらで処分コサクですけど、検討するっていうのは、
1:05:56	設計活動体制を検討するってことですか。
1:06:06	日本原燃遠藤でございます。今設定している地震動につきましてですね、それが保守的であるかということを経営ちょっと検討してみるということでございます。
1:06:18	規制庁、
1:06:19	コサクですけどそれだけでは足りなくて、
1:06:22	こんな体制でやってる人達と設計の妥当性を話をするっていうのはできませんから。
1:06:29	本件だけではなく全体的に
1:06:32	こういうようなやりとりがないように、
1:06:35	体制を組んでくれと。
1:06:37	いう話はずっとしているわけですよ。
1:06:42	なので、今後ヒアリングをする際には、
1:06:46	全部の対応状況において、
1:06:49	こういうような該当しないと。
1:06:52	いうことを懸念代でしっかりとマネジメントした上で回答してください。
1:06:59	今後似たような回答があったらその場でヒアリング止めますのでよろしくお願いいたします。
1:07:19	日本原燃の船越です。承知しました。
1:07:31	既存棟すみません、続けてください。
1:07:34	規制庁キシノです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:38	今の事務所からの回答の中に、地震動について確認しますって言われたんで、ちょっと通じてないなと思ったんで、もう一度言いますけど、設計用地盤モデルについて、過去に設計されて際に、
1:07:54	設計上できるだけこっちの結果が得られるような配慮がおそらく何らかのなされているので、
1:08:00	そこら辺についてできる限り説明してくださいと言っているんで、地震動についての説明を求めてないです。もう一度ちゃんと趣旨を理解して、
1:08:11	ていただいてというのをお願いしたいと思います。
1:08:21	日本原燃のほうでございます。地震動確認するというのは間違いでございます。地盤モデルについて確認するということでございます。申し訳ございません。
1:08:47	規制庁タケダですではこの3ポツの設計用地盤モデルに関わる確認項目につきましてその他確認事項ございますか。
1:08:57	よろしいでしょうか。
1:08:59	よろしくあったら4ポツのほうに入りたいと思います。4ポツの確認方法及び結果についてですね。
1:09:08	所ページは何か良いですのでちょっとオオクボしたいと思いますが、4.1 設計用地盤モデル支持地盤におけるエリア区分及び物性値の設定方法から確認をしたいと思います。
1:09:23	4.1について確認がある方お願いいたします。
1:09:38	規制庁のキシノです。
1:09:40	18ページから21ページにかけて、
1:09:46	四季調査エリアに区分すると速度構造っていう説明がありまして、
1:09:52	8ページの結果、
1:09:54	これも一番下にありますように、各エリア終わってるごとに特徴を有して速度構造が地質構造と各いれないですよ。もう捨てて三つの入り込みすることが妥当であると。
1:10:09	いう御説明の趣旨は大体理解できましたんで結論も、だいたい理解できる場所です。ただちょっとこの説明の文章はちょっとあっさりしてまして、例えば
1:10:25	エリアごとに特徴を有しているっていうのは、上の文章で、エリアごとに
1:10:30	Vs300万。
1:10:32	分布は30メートルだとか700部は、
1:10:37	うん。
1:10:38	メートルとかっていうような速度境界だエリア毎にどこで使ってるっていう説明のことにさせている。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:47	思います速度構造、地質構造と整合っていうのは何を指しているところちょっとよくわからなかったんですが、
1:10:54	ちょっと説明が推移しててですね、結論も根拠がいまいちわからない説明になっているかと思います。これについてもですね、
1:11:09	協会とかですねこの辺りっていうの許可とか、既設工認とかでも十分吟味して、
1:11:17	で、このような結論に至ってるんだと思いますし、
1:11:20	それそのものを否定するつもりはないんですけども、先ほども指摘にも同じことが言えますけれども、
1:11:28	本日いただいた過程の中で、
1:11:32	このような結論にを導くにあたっての検討した事項を確認した事項根拠機能持っているとしますので、そこら辺を踏まえてですね、ここの説明はもうちょっと丁寧にしていただきたいと思うんですが、その辺りは、
1:11:48	説明を追加できそうでしょうか。
1:11:54	日本原燃の部分でございます。
1:11:56	ちょっとあっさりし過ぎてるかもしれませんので地質構造の方はですね実際に速度構造は水平成層でありますよというふうな根拠も根拠という資料で、
1:12:11	の地質構造の堆積構造もですね水平性層であるというふうなことでですねここで
1:12:18	地質構造が整合してるというふうなことを申してます。そこで、
1:12:23	構造につきましては、もう少しちょっと詳細にですね。ええと書いて地質構造の宝刀代表させて説明したいと思います。よろしく願いいたします。
1:12:36	規制庁の土野です。具体的にお聞きしたいんですけど、どういうふうに説明を追加されるでしょうか。何かその過去の設定過程において、
1:12:45	今言われてるものとですね。
1:12:49	売り深く確認した上でこの結論に至っていると思うんですけども、ちょっと二つ三つ言葉を足していただければ済むということではありませんので、それともう少し具体的な記述を追加するなど私としてはイメージしてるんですが、そのようなイメージを社長としてはお持ちでしょうか。
1:13:11	そうですね、もう少しその岩盤とのですねえと関係をちょっと速度と対比させながら説明できるかというふうに今思っておりますので
1:13:22	これもう一度考えさせていただきたいと思います。
1:13:29	そのうちの金です。過去にさかのぼっての説明というのも必要なんですよ。もう一つ今回の資料で見てもですねちょっと説明がとれてないっていうか、文章と、ずっと整合とれてないと感じるところがありまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:45	例えば 19 ページからの時期というのは、前回 5 月の 10 日だったかと思いますが、ヒアリングで指摘を受けて、その境界のコンターを区分を細かくしていただいているし、当 0.5km の想定ライティングを追加していただいて、資料上はわかりやすくなってきたなというふうに思うんですけども、
1:14:06	これを退任し 18 ページの文章では、エリアごとに Vs300 の速度分布 700 の速度分布について記述があって、噴火していただいた 100.5km については特段触れてないというところもあって、
1:14:23	それと皆さんでこの速度分布側の文書に対応する名. 3km の外想定ラインっていうのは特にはないんですけども、その通りでもってこういうふうに説明をしているのかがわからなくてですね、詰まるところ、
1:14:40	介護基盤表面より上位の地盤が概ね速度構造の推定であるっていうことが明確に文章中も図でも示されていないように思うんですが、
1:14:49	これをどのように評価されてるんですか、それとも、概ね水平っていう一言でくっているんでしょうか。
1:14:56	この辺りをちょっとずつとも照らし合わせてですね。抽出に的確にというか正確に書いていただきたいと思うんですが、どのようにお考えか教えていただけますか。
1:15:07	日本原燃のほうでございます。ちょっとここで Vs300 と書いてしまったんですけども実際に今おっしゃられたように Vs300 から 500 というところですね、この文章をちょっと作っておりますので、ちょっとその辺のところですねもう 1 見直して修正したいというふうに考えております。よろしく願いいたします。
1:15:30	キシノです。はい、その上で、前結論として全体として概ね水平の速度構造であるという結論になる、これは変わらないと思うんですが、図の中にある建屋設置範囲の狭い範囲の中で見ても、
1:15:46	今回追加をしてもらった、0.5 キロとかの想定ライン。
1:15:53	水平とちょっと言えないところもあるわけですね。素直にこの図を読み取ったときに、部分部分では、そうとも言い切れないところもあるのかなっていうところが目については、学校、それがゆえに、
1:16:09	各施設の設計という観点で見るときに直下の地盤等を平均的に設定した地盤モデルとでは乖離が出てくるということになるのかなと思ったんですが、そういう解釈ではないんですか。
1:16:27	その点ももう 1 個で水平ではないみたいなことを述べてしまうと、解放基盤表面の定義ですとか、それ以降の説明とすることになるということであるならばその分かるんですけども、省から

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:44	そういった部分では水平ではないっていうの評価というのはできるんでしょうか、事業者の見解を教えてください。
1:17:00	日本原燃のことでございます。多少このようにですね、時速度構造がですね、でこぼこしておりますが、
1:17:09	それはですね地盤モデルの平均化というところに対応できるかというふうに思っておりましたので、これは今、この速度構造でこういうふうなところがあっても、概ねですね、水平成層であるというふうなことを説明したくて作らせていただいたものでございます。
1:17:29	キシノですね、水辺水槽であることを説明するための指導という趣旨を理解していますけれども、平均化することでここは対応できるといったのは、それはこれまでの検討を求めてきた趣旨から反することで、
1:17:44	でこぼこ工程かけながら進んじゃなくて、実際に施設ごとに
1:17:48	ここはてそれを設計上どう未考慮していくのかということで、今、説明を求めているので、その説明をちょっとおかしいと思います。
1:18:08	日本原燃の阿保でございます少々お待ちください。
1:18:11	規制庁コサクですけど。
1:18:14	先日の審査会合で皆さんが説明したことっていうのがまだ
1:18:19	隔々に理解されてないような気がするので、
1:18:23	もうこのヒアリング辞めて次回資料を直してからっていった
1:18:29	ところで、やったほうがいいんじゃないですか。
1:18:35	水平であることについてあまりヒアリングする意味がないと思っていてですね。
1:18:42	先日の審査会合で話したように直下の
1:18:45	議論をするというところで、そのばらつきみたいところは拾えるので、
1:18:52	そうなると別に水平である必要はないと思うんですよ。
1:19:00	入口として、基本ケースのように、平均化してやりますと、一旦それでやりますと、
1:19:06	いうことについては一応既認可でも指摘されているので、
1:19:14	あんまり詰めてもしょうがないかなと思っていてですね。
1:19:18	なのでその繋ぎになる分ぐらい書いてあればということで今、
1:19:24	キシノから話をしてるんだと思うんですけど、まともに回答できないような状態ではこれ議事を進めても意味がないと思います。
1:19:46	日本原燃の橋でございます。今ほどお客様の方から御指摘もあったところでして、やはり、やはり私どもも最終的に今回の昨日の審査会合の中でもやはり直下の基盤というところを検討していきますといったところに関してはやはりこういうところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:03	部分的に見ますとちょうど構想違いがあるといったところも踏まえて課題として認識しているところがございますので、そういったところの家財認識といったところですね、踏まえた上で、この現状の位置付けといったところを再生した形のほうですね、御説明させていただくような形で対応をさせていただきたいというふうに思いますので、
1:20:23	よろしくお願いいたします。
1:20:35	規制庁不足です。キシノさん申し訳ないけど、その前提で、
1:20:40	念のためここは言っておきたいというようなことに絞ってお話ししていただけますか。
1:20:49	それとキシノです。はい、わかりました。
1:20:55	コサクさんがおっしゃるようにですね、
1:20:59	推定であることもせずの説明をぎりぎり詰める必要はなくて、
1:21:06	そうでない部分も局所的にあるので、
1:21:10	各施設ごとの設計で配慮するということに繋がるものとなっておりますので、そのときのこの位置付けと、最近ですね、今の小林さんの御回答だともう一度整理されるのかなと。
1:21:25	理解いたしましたので、参照について、この 18 ページの防護についてですね、ちょっとその辺りの整理をお願いしたい。
1:21:36	と思います。
1:21:40	翌年トガシでございます了解いたしました。ちょっとこちらのほうの速度構想から読み取れるところ、それを踏まえての課題認識というところできっちり明記するような形で対応の方からしていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
1:21:54	はい。
1:21:56	気象庁キシノです。
1:21:58	その後で
1:22:10	そう。
1:22:12	はい、えっとですね。
1:22:17	その次の 4 ポツ 1 の中で、23 ページ、
1:22:24	内容について確認をしたいんですけども、
1:22:28	非常に掲示で重要度の高い施設は建屋、
1:22:34	という言葉が出てますが、それに対応するのに 13 ページの図だと思うんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:40	重要度の高い建屋にどれが残っているのはちょっと 23 ページの図で議論びっくりするとしてですね、ちょっと明確に説明をしていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
1:22:54	はい。
1:22:56	検討してございます。こちらのほう色刷りの方させていただきますまして、このところといたしましては当初の工認でいきますと、やはり使用済燃料貯蔵建屋といったところが、Sクラスが有しているといったところでやはり最初中でも特に重要度が高いといったところで 10 予見的にあのボーリング放置してるといったところもございますので、
1:23:15	そういったところが各医療に対してのその重要度といったところがわかるような形のほうで 9 のほうをさせていただきたいというふうに思いますのでよろしくお願いいいたします。
1:23:28	基準地震動Ss、今それを明確にして欲しいといった趣旨というのが今日今回経営設計地盤モデルの物性値の設定に使ったと思えるものがこの 23 ページ、赤丸で示されている記述検層どの位置だと思うんですけども、
1:23:46	後ろのほうには 80 ページでこれとは別に大間湾に載せているわけで、今回その設計の地盤モデルの設定に基づいたのが赤丸だけなのか、青丸ってのはどういう位置付けになるのか、どうしてする無制度設計に使わなかったのか、この点も説明がですね、ちょっとこれも全然なされていなくて、
1:24:06	赤丸、青丸の違いとか位置付けといったものを我々ちょっと理解できてないんですけども、その辺りの説明を尽くしていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
1:24:34	別におおいにトガシでございます。こちらのほうの赤と青の違いでございますけれども基本的にあつたといたしましては最初施設を建設資金上ですね、当初に実施しているボーリングデータでございまして当社のでいきますと、こちらの方で修正させていただいている衝 60 年の 7 月から
1:24:54	平成元年の 1 月の間で実施されたPS検層といったところ、基本的に赤のデータだと思えます。それ以降に、
1:25:02	やはりそういったのがこの青になっておりまして、設計用地盤モデルを設定する際におきましてはこのAと赤の年代までのですね、ところでの設計を今までの設計をしていたといったところとして青葉追加として実施した内容という位置付けになってございます。
1:25:21	貯金ですじゃあの設計図番までの御説明の設定にはこの赤丸で設定しているということでもいいですか、それ以外にも青丸以外の、それ以外の物性などをも設計に使ってるということはないというか、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:37	日本にトガシしてございます。今の規制庁さんの認識の通りでございまして設計を地盤モデルといたしました赤のみで作成されているものになってございます。
1:25:47	規制庁の木です。わかりました。この赤丸、青丸のですね位置付けとかですね設定の根拠になっているデータがとれるのかなどについてはもう少し説明のほう超えていただければと思います。あともう1点なんです、24ページ25ページ。
1:26:04	今回の速度境界の設定方法の説明がありますけれども、24ページにこの方向っていうのは、複数孔の速度境界の乖離を最小にして平均化された速度構造を構築するってあるんですけども、これの意味するところをもう少し説明していただけますか。
1:26:23	例えば先ほどPS検層とかの配置というのも、どうしても重要な施設とか、或いは地域に調査データが偏ってしまうところもあるかと思いますが、そういったものを地域的な偏りなんかを補正したりとかそういったことも含めてやられているから説明していただけますでしょうか。
1:26:48	日本原燃の小野でございます。
1:26:50	速度構造につきましては通常の地盤ですと連続的に変化する。
1:26:56	ルート1というふうなものをですね、数学的といいますか工学的に評価するために参加しておりますのでできるだけ乖離が少ないようなところでですね調和的に切替べきではないかというふうなことでですね。
1:27:12	この今ここに書いてございます。20、
1:27:15	普通、20。
1:27:18	25ページ26ページの手法をとってございます。
1:27:22	それについてどのアナウンスし、前回ですねお話がありまして、インピーダンス比ですとか、どのぐらい違うんですかということですね、ちょっと後ろのほうの表ですが、2311ページのほうのですね、表のほうに書かせていただいております。そういうことで整理をさせていただいております。
1:27:45	その次のです。つまり、この手法というのは、
1:27:50	聞く調査坑の地域的な偏りとかを補正するといったものでは、
1:27:55	ないということかと理解しましたけどもそれを
1:27:59	特に設計の際に考慮してない理由っていうのは何でしょうか。
1:28:20	今経営平均をしましてですね、ボーリング孔がですね。
1:28:27	領域内で領域内で平均した時にですねその高さがですね、変わったとしても、それに対する影響がですねどのぐらいあるのかということと比較をいたしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:42	比較の図によりますとですね、西側の一番上のところで、41 メーター近傍でですね、若干速度比がですね異なるものの痕のほかのところはですね、どこで切り換えても、大体同じようなところで速度を切り換えて、
1:28:59	でも影響を経て影響がないというふうなことで理解しております。
1:29:22	はい。
1:29:25	貯金すいませんちょっとマイクは切れてます。今の御説明はシナリオについての偏りを補正するものではなくて、速度境界の高さが検討しても、その差が一番小さくなるようなところに設定をしているというそういう理解でよろしいでしょうか。
1:29:44	はい。
1:29:45	日本原燃どんどんございます。そのように設定してございます。
1:29:50	貯金です。わかりました。全体のヒアリングでその境界の高さも薄いと同様にばらつきがあると思うけどもそれを考慮しないで、
1:30:01	単純に平均化するだけで良いとする理由の説明を求めたんですけど。
1:30:05	これもその説明になってるんです。
1:30:13	日本原燃の阿保でございますが、協会の高さをですね変えたとしてもですね、アメリカはあまりといいますかここで見られる上下の速度差があまりございませんので、それを実際に今ここで求めの出しているところがですね。
1:30:31	全部平均したときに動く、動くといいますかそのばらつく速度がばらつくところの範囲でございますから、そこ以外で変化をさせるということは考えにくいと。で、その中でやったとしても、高さを変えてもあまり大きな変化がないということでございます。
1:30:51	その機能です。
1:30:53	この底樋からどの程度施設への影響がないということが読み取れるかちょっとわからないんですけど、これは今後の日程とかっていうのはちょっと私わからないんですけど、この外置きであれば、
1:31:10	その相当会の変動傾向につきましては、設計には影響がないということだといえる辺りになってるんでしょうか。
1:31:20	日本原燃の阿保でございます。
1:31:22	底樋二体まあ今これそこで書いてございますが、-1 でございますとインピーダンス比というふうなことになると思いますが、実際にはこういう振動Ⅱの場合ですと、このインピーダンス比の逆数にですね。
1:31:38	比例するというふうな形で応答倍率が変わってくると思います。
1:31:42	一番ここで一番大きいですね、4-1-1 表の 2311 ページに書いてございます一番上のところだと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:51	逆止とってみますと大体 1 割程度ですね。オートバイ率が変わるというふうな ことになります。ただですねこの部位のですね速度のほうの平均値が
1:32:06	39 ページにございますが、
1:32:10	39 ページのこの 41 メーターのところの境界ですが、
1:32:16	ここのこの速度のですね標準偏差が経営 100 で低Vsが 410 でございますから、 変動係数が 25 になるということで、ここ性上下の下の変動に対しまして、
1:32:31	速度のですね変動が変動係数が 25%と大きいというふうなこともございます し、
1:32:37	今簡単に御説明しましたらこういう振動数の音倍率ですから、いろんな周波数 成分が入ってきますと、基礎、その程度の最大でもその 1 割程度、
1:32:49	程度の影響というふうなことで、いうことですね、この図でこの表で示してござ います。
1:32:59	キシノです。損得をとりますけれども、まずそこら辺のづき法から読み取れると ころの解釈ということをきちんと説明していただきたいと口頭でおっしゃった辺 りはもちろん明示されているんで、それも示すというので 1 割程度の変動とす ると。
1:33:19	今こん。
1:33:22	設計の中で見込んでいる、ばらつきの範囲ですとかそれにも含まれている ので無視できるということであればそこまでちゃんと説明をしていただきたいと 思いますが、そういう理解でいいんでしょうか。
1:33:36	日本原燃のほうでございます。そのように理解していただいているかと思いま す。
1:33:43	わかりました。
1:33:46	ちょっとその辺りはきちんと説明をさせていただきようお願いしますという 論法追記について新会長、
1:33:56	規制庁タケダです。ありがとうございます。
1:33:59	そのほか規制庁から 4 ポツ 1 について、確認事項ございますでしょうか。
1:34:12	規制庁カミデです。体裁的なところだけなんですけど、40 ページ
1:34:20	(3) 番で地表面付近の支持地盤の物性の扱ってあるんですけど、
1:34:28	説明されているような容態で理解はできるんですけど、少し図を使ったりして すね、特に
1:34:38	そん知事地盤の機械ですとか、やっていただけるようなのでモデルなりポンチ 絵でこういうことをやっていますよというふうになんかちょっとわかりやすい資料にして いただきたいんですけど対応していただけますでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:53	日本原燃のオガセでございますこちらのマンメイドロックのところの扱い等のところへにつきましては図表のほう通訳ポンチ絵のほうをつけるような形で対応させていただきます。
1:35:05	規制庁カミデです。よろしくをお願いします。私からは4ポツ1は以上です。
1:35:14	規制庁タケダです。4ポツ1その他ございますでしょうか。
1:35:20	よろしければ4ポツ2の設計用地盤モデル、表面時表層地盤における物性値の設定方法について確認をしたいと思います。確認事項ある方はお願いいたします。
1:35:39	規制庁カミデです。私から1点基同じように、ちょっと体裁的なところだと42ページで表層地盤の話が書いてあるんですけども、3種類。
1:35:54	表敬表層があるので、どの建屋にどの表層地盤が対応しているのかということですね、一覧表にするなりしてちょっと現状わかりやすく示して欲しいんですけど。
1:36:09	そういった形で資料の修正をお願いします。
1:36:15	はい。
1:36:16	日本原燃のほうでございますが、承知いたしました。
1:36:29	既設のキシノです。42ページなんですけれども、
1:36:35	これも全般的にこれまで質問してきた。
1:36:40	その趣旨に対する回答として不足しているかなと思うんで確認したいんですが、まず、2行目のところファイルによる品質管理によりという言葉なんですが、
1:36:51	ちょっと私、すみません、この辺りに機器を持ってないんですが、ここあるによる品質管理というのは具体的にどのような管理方法なんでしょうか。
1:37:00	日本原燃の小野でございます。ここではですね鷹架層という岩盤を掘削しております、そのがんずれいいのですね大きさをごとにですね、すごくいっぱいといいますか
1:37:15	° ストップにですねためておきます。それで、ここに書いてございますような、例えばその材料配布配分大豆終わりということで鷹架層等6ヶ所そうですね一帯にまぜるですとか、或いはその際の最大粒径をですね、150mm、以下にするとかですね。
1:37:34	そういうふうなことで、その山にしておいたがん刷りをですね、品質管理マニュアルというものに基づきまして、まず合わせて、同様の同じようなどう土質材料作っていくということでございます。
1:37:55	ストック変えるっていうのは濃いですか、そういった
1:38:00	今後とか調整とかを行う。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:05	工具とか、中期的なことになるんでしょうか。
1:38:08	日本原燃のほうでございます。ただこれは刷りの山のことですね。
1:38:18	これでいいますと、
1:38:20	この刷り山
1:38:23	の品質管理として、粒度調整したり材料特性される量があり云々によって管理されてるといことで、埋戻等については別途ピット品質のものにエリアにかかわらず、なってますよっていうそういう説明だと思んですが、
1:38:41	何らかの母線までの設定と調整をしているかと思しますので、その各母材と、あと今後の流動あり、流動の目標範囲内とした特性といったものもですすねえ等、具体的な情報をちゆて。
1:38:58	この辺りにエリア共通で、敷地全体共通で統一されていますっていったところも説明をしていただきたいと思いがいかがでしょうか。
1:39:09	日本原燃の小野でございます。全体のですねほぼ 80%につきましては、ここに書いてございますようなストックパイルによる管理をしてございますので、残された 2 割についてはですすね、
1:39:26	段丘さというもともとこちらにある中位段丘なんですけども、それですすねストックファイルではございませんが、密度管理をするとあと締固め度ですすね管理をしております、
1:39:42	ポータブル項によりますと、90、想定されるQ値を確保してるといことでやっておりますので、この 2 種類について埋戻し炉につきましては、品質管理、品質管理のもとで、
1:40:02	実際に埋め戻しを行っているというふうなことを記述させていただきます。
1:40:29	規制庁のキシノです。すいません。今の御説明ですすね。ほど下については、
1:40:38	2 種類の品質管理の異なる材料で、
1:40:42	うーん。でも一方で根戻しの物性値としては、敷地全体で一つのものを設定していると思んですが、
1:40:51	検出スパンの異なる 2 種類の材料に対して同じ成長を設定しているといことは、それは妥当な方法なんでしょうか。
1:41:04	えーとですすねを 2 種類といいましても、日本原燃のほうでございます。
1:41:10	2 種類と申しましてすすね最初にやった載せて先行してやられておりました先ほどの段丘差をつけて使った
1:41:20	埋戻どうもですすね、影響度というものがすすね、大体それを目指すような形で多分多分じゃないですすねそれを目指すような形で次の埋戻しどうもやられておりました、大体共同的にはすすね同様の強度が出ています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:37	いうふうな結果になっておりますので、一つの物性値として平均してもよろしいかというふうに考えております。
1:41:49	それとのキシノです。強度が大体同じくなるように包まそろえたということで理解しましたが、物性値として設定してるのは単位体積重量等へと剛性VSVPだと思いませんか、その品質管理の方法で
1:42:04	同じ物性値になるっていう理解でいいですか、そうであれば、その辺りですね、
1:42:11	管理目標とした強度から、それら物性値もどっちとみなせるということですね、きちんと説明していただきたいと思います。
1:42:23	日本原燃のものでございます。今もですね、70 密度等に体積重量につきましては最大乾燥密度等最適含水比ということで、両方とも両地点ともですね、管理をしております、ほぼ
1:42:38	同じ、同程度のもので施行されているというふうに考えております。
1:42:48	社長のキシノです。VSVPも物性値として設定されておりますので、それも含めてですね。
1:42:55	それは合成カワラサキG0 も設定されておりますので、それも含めて、1として設計で切るということをきちんと
1:43:05	説明していただければと思います。ここで埋め戻してもについてはソフト管理をされてるんですよという説明なんです、造成報道も同様の説明ができるのではと思うんですが、いかがでしょうか。
1:43:22	日本原燃の小野でございます。
1:43:24	造成モリノにつきましても、これ 6ヶ所相応のですね、切り度ですね、時残土処理しまして実施しております。これにつきましても、一応品質管理ということでですね、それぞれ締固め度とさ湿度につきましてもは締固め度、
1:43:43	ねん制度につきましてもは飽和度ということで管理をしております。これ青森県土木工事共通仕様書の高級度高に準ずるというふうな一般的なの埋め戻しの基準に準ずるものでございます。
1:43:59	はい。
1:44:03	はい。
1:44:04	施設のキシノです。つまり、
1:44:08	造成モリノについても戻し凸凹と同等の説明は可能であるという説明だと理解しましたので、そのような説明を追加していただくようお願いしたいと思いますんで、42 ページから 46 ページとか 50 ページにですね、それぞれの材料の
1:44:28	ボーリング調査孔の位置が載っていて、青線で掘削範囲っていうのが平面図でありますから、コサク範囲っちゃうのは三つの材料のⅡそれぞれみんな同じものを載せているんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:43	損傷に共通のものを載せている理由っていうのは男性なんですか。
1:44:51	日本原燃の小野でございます。
1:44:53	まずこの掘削線につきましてはですね、区数m埋戻度につきましては、42ページの埋戻のにつきましてはですね掘削線の内側、実際に掘削した後にですね埋め戻しているところからサンプリングしてるということでございます。
1:45:11	次にですねえ46ページに示します造成モリノはですね、これは掘削をする掘削モリノ地盤掘削の外側にしか造成モリノがございません。それも
1:45:27	敷地ですね北側と南側に限定的にございます。この位置でわかるようにこういう掘削した外側にですね、あります。それで掘削の外側ということを示すために、同じ図を入れてございます。
1:45:43	あとそれから、6ヶ所層につきましてもですねこれ今敷地の内側にあるやつはですね先ほど
1:45:54	先ほどAPS項目ですね、直下ボーリング等の時のロッカー貯槽がございしますが、実際にはA敷地の外側にしか存在してませんので、そういう意味で掘削線を同じく作戦を入れてどこでとったかということをわかりやすいように説明したものでございます。
1:46:18	社長のキシノです。掘削範囲との位置関係を示すために載せたというのであれば、その説明を加えておいていただかないと。
1:46:30	どういうことを意味しているのかが理解できないので、説明工程でいただきたいんですけども、私はどう見たときにも思ったのはこの掘削範囲を当然埋戻し中枢わけで、この材料として埋め戻すどうや造成モリノを
1:46:48	使っているのだらうと思っていたのですが、今の話と、例えば先生も今度は掘削範囲の外側で主に使ってるということになって掘削範囲のものとしてはすべて埋戻動でやられているというふうに理解できたんですがそういう理解でよろしいですか。
1:47:08	日本原燃の小野でございます。その以外で結構でございます。
1:47:14	若干外側にですね、造成モリノが残っているところというのは建家の横にですね、どめをしてその部分で一部残ってるものがあるということでございます。
1:47:29	それとのキシノですね、埋め戻しに使った財務のほとんどが組み戻しどうであるということで、造成モリノ使用されている領域っていうのは全体の中で、おそらく占める割合っていうのは非常に低いということで、鉄塔敷地全体が同じ物性値を造成モリノについても、
1:47:48	使っているわけですけども、使用範囲が限られているということで、
1:47:56	もう大体同じ品質ですよっていうような説明に繋がるのかなと思ったんですが、それはそういう理解でいいんでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:11	日本原燃同様でございます。モースもう一度趣旨を
1:48:16	言っていただけますでしょうか。
1:48:18	金です。すいません。UniCareなんですけど、埋戻し指導については管理がされている説明があって、造成モリノについてはそういった説明がないので、その上で、造成モリノも、
1:48:34	敷地全体で共通の物性値を設定していい理由コスト理由の一つとして、造成モリノを使つての範囲っていうのは非常に限定的なので、ばらつきが少ないといった説明に繋がるのかなと思ったのですが、そういう理解でいいでしょうかという質問です。
1:48:51	日本原燃のようでございます。実際にですね等造成モリノが使われてるのはPa建屋の近傍だけです。とても限定的な範囲ねにございます。ただ全体的にですね同時期に造成されておりますので、
1:49:07	そのですね、偏りなくというふうなことで、全体から撮ったもので平均をしてございます。
1:49:16	わかりました。
1:49:17	許容範囲を限定されているけれども、その根拠となるデータは敷地前提から拾っているということなので、それが同等とみなせるということについてはあわせて説明していただきたいと思います。あともう1点なんですけども。
1:49:35	42 ページに戻りますと一番下の説明ですね、
1:49:42	静聴深度方向に上載荷重が大きくなると、深度依存とするという説明が
1:49:48	ありまして、これは、この 46 ページにあるんです。
1:49:53	没水きりこ深度方向に上載荷重が大きくなるというのは当たり前のことで、きちんと高校に上載荷重減ってくるような地盤ってのは存在しませんから、これは深度依存とする理由にはならないと思ってですね。
1:50:08	どっか初心を保安規定登録に深度依存としないということも説明にも、
1:50:15	だから、この 42 ページの理由だったら全くならないようですので、このちょっと説明は適切なものを考え直していただきたいと思います。いかがでしょうか。
1:50:27	日本原燃のものでございます。深度方向に上載荷重が大きくなるというのはですね、下のほうから締め固めていきますので、上野層になりますとの阻止に締め固めがどンドンどンドン効いてくるということで、上載荷重というよりかですね、
1:50:45	実際にこれは締め固めですね管理基準の中に入ってるんですけども、そういうものも重なって下のほうが 16 番のこともございますから、大きくなるというふうな考えて書いたものでございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:00	社長キシノステップ社をやりました。多分造成モードと埋め戻しのっていうのはそういう管理方法でセコムをされてるんで、下に行けば行くほど密度ですね、上載荷重ではなくて密度が大きくまた縛りではもちろんなことで、平均持続思ってるんだという
1:51:20	そういうふうにご考慮されているというふうに理解しましたので、そういう説明していただきたい。結構ロッカー初層というのは、別途これはアジアかと思いましたが、そのような施工を充ててのは当然含んでないものですので、
1:51:35	深度方向に非常みととかディーゼルが増えていくというものは想定できないから、ここは深度依存はしていないと、そういうふうに理解しましたが、そういうことであればそのような御説明についていただきたいと思います。いかがでしょうか。
1:51:50	日本原燃のほうでございます。承知いたしましたそのように記述させていただきます。
1:51:57	はい、お願いします。4ポツについて機能以上です。
1:52:06	規制庁ハバサキです。1件だけ事実確認したいんですが、50ページで6ヶ所相応の説明があるんですが、今回PA建屋の直下地盤をモデルを作るときのフロア箇所層の地盤物性機
1:52:24	っていうのは、どの位置の調査結果に基づいて設定するのでしょうか。
1:52:40	2億円としてございます。こちらのほうの6今回承知いたしましたPN職のものにつきましては、ちょっと今回、
1:52:51	検討するに当たりまして、PA建屋まあ設計する値でにおきまして直下のPSを、これ以外のところの行でPA建屋近傍とったものがたまたまございましたのでそちらのほうのデータを持ち梁に形でお聞きしてございます。
1:53:11	ハバサキです。
1:53:13	今説明があったのは、資料の780ページのところに直下PS検層の結果ということでPA建屋の前周り、かなりこちらには調査坑があるということで説明があるんですけども。
1:53:30	このうちのどれかを使ったということですか、それとも、これとまたさらに別の調査坑が二つあるのでしょうか。
1:53:40	逆にねトガシでございます。こちらのほうの当チーム。
1:53:45	80ページ8ページで記しているものとは別にですね表層をですねちょっと確認するようにとったものがございましたので、こちらのほうのデータのほうを活用しました。
1:53:58	規制庁ハバサキです。説明理解しました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:01	争点は、やはり説明が必要かというふうに思います今この資料上、上では読めないのですね、そこら辺設定等、説明の充実をしてもらいたいというふうに考えますが可能でしょうか。
1:54:16	日本原燃富樫でございますが、こちらのほうの内容に関しまして特に直下のですね、地盤物性の設定にあたっての説明書がございますのでこちらのほうでどのデータ、データここからとったといったところですね、きちんと明記するような形のほうで対応の方からしていただきますのでよろしくお願いいたします。
1:54:33	規制庁浜崎です。お願いします。私から以上です。
1:54:43	規制庁の武田です。私からもう1点だけなんですけれども、
1:54:52	例えばなんですけど43ページ。
1:54:56	ここはちょっと埋戻動例に申し上げますけれども、
1:55:02	都会形式と標準誤差の図がありまして、この図中に相関係数も今回追記をされているんですけども、
1:55:12	先ほどコサクキシノとのやりとりで、進路方向に女性課税が大きくなるため深度依存とするというふうな判断もされていると思うんですけど、この相関係数につきましても深度依存
1:55:26	ローマ妥当性を説明する指標になっているということでよろしいですか。
1:55:34	日本原燃の宇野でございます。
1:55:37	今のところですね相関係数コンマ1ぐらいを基準に相関性はあるというふうに考えてございますが、
1:55:45	ご存知にし、深度方向ですとこれ少し触れますと今度交番してしまいますので、この縦方向横方向の相関についてはですねこの辺りがちょっと小さくなってしまってますので、我々の基準ではコンマ1以上あるということで相関性があるというふうに考えてございます。
1:56:09	わかりました。相関係数を指標に用いているというのであれば、統計的に変動いった目安でそういうふうに判断しているのかということも含めて説明のほうを追記いただければと思うんですけども、いかがでしょうか。
1:56:26	日本原燃のほうでございます。承知いたしました。
1:56:31	規制庁タケダです。よろしくお願いいたします。その他4ポツに規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:56:39	よろしければ4ぽつさんの設計用地盤モデルによる地震反応伝播特性について確認をしたいと思います。規制庁顔からでは確認がある方をお願いします。
1:56:58	委員長のキシノです。今回はざっと10分
1:57:03	モデル。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:05	の説明を追加していただいているんですけど、56 ページから 5 人近畿ページにあるはぎとり地盤モデルなんですが、これと設計用地盤モデル、
1:57:18	なお、物性値あそこの境界って同値と向かって比較を示すことはできないでしょうか。
1:57:25	当社の相違点等、その解析結果に与える影響についての説明をしていただきたいと思うんですけども、いかがでしょうか。
1:57:34	日本原燃の橋でございます。かしこまりました。現在の表の形でしか示していないんですけども速度の例えばずーっとかグラフとかでそういう速度の違いというものを比較できるように図のほう示させていただきます。またそれに合わせましてちょっと考察できるところについても確認させていただきますまして文章とかのほうに追加させていただきます。
1:57:53	町長のキシノですね、その上でですね、今回施設ごと直下周辺地盤モデルを用いた検討してるやってるわけて、この両者の違いが検討の
1:58:05	検討結果に与える影響というのも、可能な範囲、
1:58:09	で考察を超えていただければと思いますがいかがでしょうか。
1:58:14	日本原燃のオガセでございます。かしこまりました。それがそのようにいたします。
1:58:20	それと、
1:58:23	70 ページからですね評価結果書いてありまして、70 ページ一番下に結論として設計用地盤モデル敷地における地中の地震保険立て付け気圧に考慮したモデルになっていると思います。
1:58:37	に記載されています。
1:58:39	ここでやってるのが、はぎとり地盤モデルと設計用地盤モデルとで同じ自身は入力させたときの応答がほぼ整合しているということから、さっき言う地盤モデル 1%。
1:58:53	指針案の伝播特性が適切に考慮できてますよという説明になっているというふうに理解しておりますのでここではぎとり地盤モデルっていうのは、
1:59:05	基準地震動の策定の際に用いられたはぎとり地盤モデルということなので、それと整合しているということは、石油地盤モデルが敷地も
1:59:17	ここに書いてある通り、
1:59:19	でしょうけども、事務費の伝播特性が表現できるモデルということになるのかなというふうに思うんですけど、ちょっと一つ教えて欲しいのは、この設計が地盤モデルを作成したそのプロセスにおいて、この上げたり地盤モデルと
1:59:34	をするような仮定調整とかっていう過程を踏んでいるんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:39	もしそうだったらまあ整合して当然なのかなと思ってるんですが、その点教えていただきます。
1:59:44	日本原燃のオガセでございます。ただいまの件回答させていただきます。隻を地盤モデルの策定の際にはこういったはぎとり地盤モデルとの比較や検証そういったものについては行ってないというところでございます、それぞれ別個につくったものという形になってございます。以上です。
2:00:00	規制庁のキシノです。わかりました。それでここでは、その敷地の近傍の伝播特性、
2:00:07	それが表現できるよということにとどまってるんですけども、この結果からいえること経営ちょっと私の理解が足りてないところ、
2:00:20	あるので教えていただきたいんですけども、この検討から導かれる結論っていうのは、
2:00:29	どっかと範囲まで適用できるのか、つまりこの結論からですね設計の地盤モデルも何の設定が適切といえるんですかね。これまで説明の中で設計を地盤モデルは水平な速度構造を
2:00:45	入れないで、各速度構造は水平なのでこの設定でいいんですよって言った説明があったんですけども、それに繋がる説明という理解でいいんでしょうか。
2:00:56	日本原燃のオガセでございます。まずこちらで単純な比較と比較といたしまして単純に見れるものとしたしましては、はぎとり地盤モデルというのは地震観測記録の増幅特性を再現可能なモデルですというところをつまみすいません地震観測記録の増幅特性を示したモデルです。
2:01:14	これに対しまして我々の設定している設計を地盤モデルが別にありますけれども、それらはその点、増幅特性として同じようなことを示せるとバリアの設計を地盤モデルで考慮している地盤の増幅特性、これについては観測記録とよく合ったものというのが、このはぎとり地盤モデルを使った評価によって間接的に検証ができると。
2:01:34	というようなところでやっているところでございます。それに対してどの範囲までというようなところの確認ができるかということとところでございますけれども、は今ちょっと文章とかでは書いていないところでございますけれども、やはりあの地震観測記録の増幅特性というのは、そこだけがピンポイントの地盤のとく硬さとかそういったところだけに
2:01:54	割れたものではなく、やはりそういった一11、ある程度の範囲を持ったエリアのようなところでの全体的な増幅特性こういったものをちゃんと反映されたものというのが、我々としても地震観測記録だというふうに思っております。ですので、今回この隻を地盤モデルの検証に対して、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:12	この地震観測記録の増幅特性というのを見ることによって、ある程度エリアの範囲内でもっての全体的な増幅特性というところは確認可能ひいてはこういった概ね水平成層といますかそういったところに、の検証についても繋がるものというふうに考えているところでございます。ことだけでございましたが、以上でございます。
2:02:35	規制庁の金です。マシーンわかっ
2:02:38	できた気がします。そこの辺り地盤モデルを求めたその観測点っていうのは、
2:02:48	各医療の中でも、代表といいますかねえと全体表現できるんですけどっていうものを選定していると思われてそこでの観測直交再現できるようなはぎとり地盤モデルを作ったというのは、これは各エリアの造成特性を、
2:03:04	今後代表できるように、
2:03:06	MTVなんて言うていただいて、それと整合するもん設計地盤モデル語っているということから、設計地盤モデルというのもエリアの中で、その敷地全体明日エリア全体の各エリア全体の
2:03:21	増幅特性が表現できるので全体を
2:03:27	代表するモデルとして適切ですよというようなことになるのかなと理解いたしました。
2:03:33	もしそういう理解でよければ、そこら辺をもちろん拡大解釈するという意味ではなくって、
2:03:42	このはぎとり地盤モデルと位置付けから、今回の設計地盤モデルの妥当性に至るまでの説明というのをきちんとちょっと言葉を繋いでですね説明をしていたきたいというふうに思います。
2:03:57	もう一つ思ったのは、先ほどちょっと説明の追加を求めた上げたり地盤モデルと設計地盤モデルも、
2:04:08	まず層境界の位置とか物質とかの比較を示してくださいということで、それによる影響というのを考察してくださいと言ってもそこに繋がるんですが、今回、
2:04:18	はぎとり地盤モデルと設計用地盤モデル間で大体整合してるという結論から
2:04:27	でも説明を求めている各施設ごとの直下地盤モデルと設計を地盤モデル最当てはめたときにどのようなことがいえるのかっていうことももしいえることがあるんであればですね、逆止弁を踏まえて、
2:04:40	御説明追加していただきたいと思うんですが、
2:04:47	日本原燃のオガセでございます。日本原燃のオガセでございます。先ほどの英語、ご指摘の際には隻を地盤モデルとはぎとりの比較というところでしたが直下との比較につきましてもちょっといえるところを考察を深めたいと考えております。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:06	それと機能です。了解しました。よろしくお願いします。
2:05:11	ポストについては以上です。
2:05:14	はい。
2:05:18	規制庁ハバサキです。
2:05:19	今回再起以外の地震についてもですねシミュレーション結果提示されているということで確認しました。で、1点だけちょっと確認したいのは、はぎとり地盤と設計用地盤モデルの比較で、
2:05:34	中央地盤は確かによい対応が見られるんですけども。
2:05:39	東西の地盤については、若干設計がばらつきも含めてですね、
2:05:48	当大きめに出ている。はぎとりよりも東亜乖離が見られますが、これはいずれの地震にもそういう傾向が見られるんですが、その点は何か考察されてますでしょうか。
2:06:04	日本原燃のオガセでございます。こちらにつきまして考察というところで、今回ちょっと変えていないところでございますけれども、はぎとり地盤モデルというのはまずあの地震観測記録に合うように作られている増が増幅特性が合うように作られているものというところで、かなり現実に即したものというところが前提であります。一方でこの設計用地盤モデルにつきましては、
2:06:25	4.12 のところで御説明している通りあのボーリングデータの数字に基づいて作っているものですので、そもそもの観測記録に合うかどうかというところの話というのは直接費検証したモデルにはなっていないということです。ですので、結果的にこのようになったという話ではあるんですけども、これに対して、どうしてこういう差が出たとかいうところの考察なんですけど、
2:06:45	ちょっと明確なところはまだ言えないところで恐縮なんですけど、今のところ考えている。理由といたしましては、このはぎとり地盤モデルといたしましては地震の増幅特性をきちんと表現というか再現するために、表として例えば 59 ページとかをご覧いただければと思うんですけども、
2:07:03	減水乗数につきましてこれ周波数の依存特性、こういったもの自身の地震学とか地震の増幅特性の話のところではこういった減衰定数に周波数依存特性を持たせてこの地盤モデルを設定するというようなことをよく行われているんですけど、今の設計用地盤モデルにおきましては一律 3%というふうな形で設定しております。
2:07:22	おそらくここにですね保守性が設計を地盤モデルとしてあるというふうに考えておりますので、結果といたしまして西と東ではちょっと隻を地盤モデルのほうがええ地盤増応答としては大きく出ている、また中央としても概ね同等とほぼ同

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	等と言いつつも、やはりちょっと石油のほうが大きくなっているという結果が見られますのでやはりこういった減衰
2:07:42	工数の設定とかにおきまして保守性というものが設計を地盤モデルでは見込まれているのかなというふうなところは考察しているところでございますが、ちょっとこういったところもちょっと書けるかどうか検討いたしまして理事会に反映させていただきたいと思えます。以上です。
2:07:58	規制庁ハバサキです今の説明で理解しました。別にこれ
2:08:04	何か研究論文を読んであるわけじゃないので、あまり深い考察を求めるものはありませんが、はぎとり地盤との比較で設計を地盤モデルの妥当性という観点の説明をしているわけですので、まず保守性がなり妥当性ということですね、考察ができる範囲であったほうが、
2:08:23	信頼性が増すというふうに考えますので、できる範囲っていうか、適切な判断をしていただいて、必要と考えれば考察のほうを充実してもらえればというふうに考えます。
2:08:37	私からは以上になります。
2:08:39	日本原燃のオガセでございますかしまりました考察のほうでできる範囲で深めさせていただきます。
2:08:49	規制庁の武田です。その他 4 ポツ 3 で確認事項がございますでしょうか。
2:08:57	よろしければ 4 ぽつ 4 の(2)に進みたいと思えます。4 ポツの直下PS検層データを参照した影響評価について鋭角にある方をお願いします。
2:09:14	規制庁の木です。
2:09:16	4 ぽつ 4 について、
2:09:18	なんですけれども、本検討の対象となる施設というのは、長期間 81 ページ 82 ページに掃気直下を用いた解析を実施する建物構築物の整理されてるんですが、
2:09:36	この表の一番左端にある施設がそもそもスタートラインなのか、この検討の対象となる施設っていうのは、他にないのか、どういう観点でこれを上げているのかっていうのを説明していただけますでしょうか。
2:09:56	日本原燃のオガセでございますこちらの 81 ページと 82 ページに記載する表でございますけれども、Sクラスの間接支持構造物をSSと同等といいますか、になります重大事故等対処施設をすべて網羅した上で、こちらに記載しているところでございます。
2:10:12	で、その上で、こちらにつきまして、直下もしくは近傍のものを選ぶということにしております結果としてでございますけれども、直下がない場合はきちんと近傍

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	選ぶことにしまして、ボーリングがないので評価はしないというようなものがよ うな建物はないというような整理になっております。以上です。
2:10:31	規制庁の木です。やっとわかりました系と基本はです。
2:10:36	クラスの間接支持とか、それに外筒該当現状留学生ということで、要は月数で 当然その設計のものということになるのかなと思ってた、そうすると、
2:10:51	Sクラスへの波及的影響技術施設とか、もう
2:10:56	対象になってくるのではないかなと、Sクラス同様に地震応答解析とか応力評 価を行うようなものっていうのが、ここですることを対象になるのではないかな と、基本は思うんですが、その辺りはいかがでしょうか。
2:11:09	はい。
2:11:15	日本原燃のミスでございます。ただいまおっしゃっていた件につきましてですけ れども、おっしゃっていただいた通りSsで評価をする建物、
2:11:24	というのが対象になりますので、ここではすいません波及のほうも追加した上 で、改めてちょっと整理のほうさせていただきたいと思います。その上で直下に ちょっともしくは近傍についてどれをAとの確認するのかというところを再整理 させていただきます。
2:11:38	はい、規制庁の金です。わかりました。そもそもの対象となる施設というものを ですね、明記を明確にさせていただいて、その上で私募貧困でいただくというよ うなことでお願いしたいと思います。
2:11:55	それとですね。
2:11:59	78.2Gですね、これが載っていますが、ちょっとここで、
2:12:05	代案判定の考え方について、
2:12:09	一つ確認したいんですが、
2:12:11	一つ目のダイヤでふーん。
2:12:16	速度構造が乖離があるかっていうと、それがああるんですが、
2:12:23	それと真ん中ほどに、施設の耐震性に影響を与える恐れがあるか。
2:12:28	この二つのですねタイヤ摩耗具体的な判断の対象とか判断基準について説 明していただけますか。
2:12:36	はい、日本原燃のオガセでございます。こちらまず一つ目のダイヤにつきまし ては返りがあるか速度構造と乖離があるかというところでございますが、こちら の昨日の審査会合資料のほうではきちんと書いているところがあつたすみま せん提出した時期でちょっと反映この資料には入れていないところあります けれども、設計を地盤モデル未考慮しております±
2:12:56	一番のばらつき、これをまあ少しでもどこかで超えたらこちらイエスのほうに 流れるというところでこういった判断基準としております。二つ目のダイヤにつ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>きましては今回ちょっとまだこちら具体的なところについてはまだ明確にいえるところではないんですが、イメージといたしましては、確か先週のヒアリングでもちょっとやりとりはさせていただきましたが、</p>
2:13:15	<p>まじって直下地盤モデルを用いました地震応答解析を実施いたしまして、そのまま床応答スペクトルもしくは例えば最大応答値そういったものを比較しましても完全に包絡されるというようなそういったような結果が出た場合には、施設への影響を与える恐れがないというところで、こちらのNoのほうの影響がないというふうなところに整理されるかと考えております。</p>
2:13:35	<p>それでどこからはみ出る場合には下のほうで影響あります健全性評価応答倍率を用いたところというようなそういったところに流れていくかと思しますので、こちらにつきましてはちょっとあの施設ですとか評価の対象施設で考慮する荷重ですとかスペクトルそういったものに応じて変わってくるのかなかというふうに考えているところでございます。以上です。</p>
2:13:56	<p>規制庁のキシノです。もう一つNoda以外については昨日の会合での説明との整合がとれる。</p>
2:14:03	<p>来ていただければと思いますが、土地のことについては、ちょっと今、</p>
2:14:09	<p>責務地盤モデルで求められたものに比べて求めるとともに、包絡されてるかどうかという辺りかと思うんですが、それと比較する直下の直下地盤モデルを用いた場合の応答とかFRSとかっていうのは、</p>
2:14:25	<p>これは表層直下地盤もこう物性のばらつき等も加味しても包絡されているかっていう、そういう意味なんですか。</p>
2:14:39	<p>日本原燃のオガセでございます。もちろんでございます。今回直下のこの地震応答解析やばらつきのほうも格好でいたしますのでそれも含めての判断になるかと考えます。</p>
2:14:48	<p>規制庁のキシノです。わかりました。この検討結果の具体的な内容っていうのはまた来週か再来週ですかね、説明があるということですので、またその中で、これは確認したいと思えますし、あともう1点なんですけど、</p>
2:15:07	<p>79 ページですねこれも昨日の会合の中で質問したことであるんですが、直下にPS検層データがない場合は近傍のPS検層データを参照するというふうに説明があるんですけど、肝です個数がPS検層データがある場合っていうのはどのような考え方で選定しているんですか。</p>
2:15:24	<p>例えばここに示されているものの中で、</p>
2:15:27	<p>4Bっていうのは、冷却塔安全冷却水ビール冷却塔すねと近くに三つありますか、G-4系の合意を得るのこの中で、必ずしも一般近くもらってるんだよという作業しているわけですけども、</p>

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:44	それはどういう考え方によると、
2:15:58	日本原燃のオガセでございます。こちらにつきましては基本的にこの当該の建物から近いところというところで選定をしているところでございます。ただ今例でおっしゃっていただきました。安全冷却水B冷却棟基礎のところにつきましてはこちらの使用というところにつきましては地盤エリアが変わってまいりますので、やはりあのエリアが同じなかったら近くを
2:16:18	下部というところが自然、自然というか、妥当なところだというふうに考えているものでございます。
2:16:24	うん。
2:16:25	それと、キシノです。同じエリアの中で一番近いところのものを選ぶという考え方取り返したんですけれども、
2:16:34	近いから同じ物性とか当てはまると、おそらく限らなくて、層境界の変化とか、変化度合いとか結性の方、
2:16:49	類似性ですとか、それは土質区分地質区分の観点から判断されるのかなと思うんですが、そういった考察分析はしないで、機械的に一番近いものを選んでいくという理解でいいんでしょうか。
2:17:05	日本原燃のオガセでございます言葉足らずで大変申しわけございません。の近傍のPS検層データ参照する際には当然そちらの例えばこちら安全冷却水で冷却塔基礎でしたら、それと同じような層厚構造になっているようなところ。
2:17:20	普段ペアですとか地盤の鷹架層とかの厚さとかですねそういったものが同じようなところになっているところも近傍のものを選ぶというふうな考えを当然入れております。ちょっとそちらちょっと記載が足りていないところだと思いますのでそういったところを記載のほうを追加させていただきます。
2:17:36	町長のキシノですね、おそらくこれは営業日に現地限らずですね、次回以降の申請の全施設についてどういう選定の考え方をするのかといったことに関係してくるので、次回以降店Ⅱについてはその考え。
2:17:54	出方なんかをとんでもないっていう形できちんと説明していただくとともに、今回の申請施設については、より詳細に具体的な行動データを例示しなくてですね、複数ある中で、
2:18:07	これ、これをこういった観点から、こういったものを比較して選びましたという説明を審査していただきたいと思います。よろしくお願ひします。日本原燃のオガセでございます。かしこまりました。
2:18:21	規制庁木村です。基本的については以上になります。
2:18:30	規制庁タケダですその他4ぽつ4についてでございますでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:36	規制庁ハバサキです。1点確認します先ほどお話があった78ページのフローの一番上のダイヤのところまで直下地盤モデルを作る作らないとの比較もその返りがあるかないかについてなんですが、
2:18:50	77ページの記載の文章からすると。
2:18:55	会議があるかないかっていうのは設計を地盤モデル支持地盤に関して返りがあるかないか。
2:19:01	これで分かれるという判断になるのでしょうか。と表層に関しては表層地盤に関しては、滞納物件はここでは考慮しないということなんでしょうか。いかがでしょうか。
2:19:17	日本原燃のトガシでございます。まずこちらのほうで当社の持っている現状考えておりますが、やはり直下のももとの
2:19:25	ポイントとしましてはやはり直下の支持地盤に対しましての影響検討といったところがやはり線というふうに考えてございます。それ今現状こちらのほうでの、今、影響評価の実施の有無といったところに対しましては、やはり直下のPS検層を用いたときに設計を地盤モデルから下位のある部分、
2:19:43	に対してのほうを実施していくといったところで考えているところでございましてですね今のハバサキさんのご質問でいきますと、地域地盤に対してまかりならあるかどうかといったところをしっかりと確認してそこで出ているものについては、すべからくれるといったところで今整理をさせていただいているところでございます。
2:20:00	規制機関ハバサキです。現状の歌機器としては理解しましたので、表層地盤に関して設計を考慮している表層地盤の条件と直下の直下というか、ごく近傍の表層地盤についての
2:20:16	比較等っていうのは、今後やられる予定はあるんでしょうかないんでしょうか。
2:20:27	日本でどうしてでございます。当然今回乖離が出ているものにつきましてはししまでカリが出ているものにつきましては競争も含めたところでのアズイズモデルといったところでの検討を構築以降考えてございますのでその中で、設計で用いております。今日。
2:20:44	の物性値とそれ以外の絶対とまずい考えたときの一番物資のさっき言ったところはそういった中でですね、比較のものが見えてくるものというふうに認識してございます。
2:20:57	規制庁ハバサキです。椎葉に関して会議がある場合はそういうステップなんですが、
2:21:03	先ほど表にはありますけど、今、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:08	乖離がないと判断したものに関しては、現段階では、表層については比較はする予定がないというふうに理解しましたが、それでよろしいですか。
2:21:19	日本にトガシてございます現状認識といたしましては超過の強化の検討としましては、／顔合わせ残したのを誤認しております。
2:21:27	そうでございます。
2:21:31	規制庁ハバサキですこれ以上に関しては、次回の資料を見てからにします。私からは以上になります。
2:21:42	規制庁タケダです。その他 4 ぽつ 4 はございますでしょうか。
2:21:49	よろしければ 5 ポツのまとめ、はいどうぞ。
2:21:55	ちょっと 1 ヶ所だけ各 PAR の PR とところあるんですけど、84 ページの要請もちらんこちらの評価結果影響評価条件のところの (2) の機器配管系のやつて従来のばらつきとかなどの対応としてっていうので CAQ 行わないよ。
2:22:14	火事場モデルの個別の応答ちょっとそれと設計用地盤モデルの確保へ FRS の起こってからモットーメーターは加速度比を成功に記載している参照のカミデあるんですけど、この覚悟していただくとか報告してないやつを何か比例で、
2:22:32	用いてですね、何かそういう時架空できるっていうのはどういう考え方からこうなっているのかというのがちょっとよくわからないんですけど、従来どういう考え方でこれを使ってたかちょっと説明していただけますと、
2:22:50	はい、日本原燃佐川です。
2:22:52	どう機器配管系の記載のところっていうところで、この今ご指摘ありました拡幅っていうところに対しまして、時実際今、すみません、設計基準で今評価やってる FRS につきましては、拡幅電波をやってございますと、拡幅電波を行う目的としましては、
2:23:12	そもそもその地震動のばらつきっていうものを本当に記者に入ってもらってその伝播以内の拡幅の中で見ますということで、ペーパーレスを作成するということで評価をやってると、それに対しまして、今回の直下っていうところが
2:23:29	ばらつきのような扱いかないというところで今案と ±1 のていうところを外れたものを見ていくっていうところについては、同じような対応かなというところで、この拡幅スペクトルと実際のその ±1 を超えたところっていうところを重ね合わせてみていくっていうところで従来のばらつきと同じような
2:23:49	考えたというところがこの日本語になってます。以上です。
2:23:57	すみません規制庁モリノです。その言わんとしていることは何を長くを過温です。今回の直下のやつがそのばらつきと同じ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:12	ようなもんかなっていうのが、この線表上も現れてきてないしなんでそのばらつきと同じようなもんで、何ですかね低角即応したやつの何か補正積まなくていいだろうっていうところの疑問が解決されないので、
2:24:31	そういうところの補足説明っていうか何かその説明追加していただくのかナカガワ感が明らかにして何か資料修正していただいたほうがいいのかなと思います。以上です。
2:24:46	／上下検査がですね、今のご指摘理解してございますと、今のばらつきの扱いとこの直下の扱いというところにつきましては、今の直下の今また2件目のほうの件ですか建物側で議論している終着点っていうところから直下の扱いというものが決まるってことは認識してございますので、
2:25:05	ここについては、最終的な整理次第ということで理解してございます。以上です。
2:25:15	規制庁モリノです。わかりました。そういう認識であれば、最終的には疑問解決すると思いますのでよろしく願います。
2:25:29	日本原燃さんです。了解いたしました。
2:25:44	規制庁役員の方。
2:25:47	どうぞ。
2:25:49	それで日本エヌトガシでございます先ほどハバサキさんの方から御指摘のありました表層地盤のばらつきの取り扱いの部分でございますけども、
2:25:57	今回先ほど私競争の部分について木嶋について、まあ、ばらつきの中に入っているものについての扱いとして、地域地盤のばらつきに入っていればですね表層のばらつきについての影響といったところの確認を実施して参らないというようなことが、これご回答を差し上げたところでございますけども、この部分に対しましては、
2:26:17	隻をモデルで使っておりますものですね小さいで埋められているものといったところについてもですねこちらの方で支持地盤の方でばらつきがないものにつきましても、影響としてですね、この程度のものであるのかといったところで確認のほうはちゃんと進めた上でですね、適切な対応のほうを図っていきたいというふうに思いますのでそういったところがわかるような話のほうで少しフロー図のほうを見て、
2:26:37	見直しさせていただきたいと思いますのでよろしく願います。
2:26:41	規制庁ハバサキです。説明理解しましたフロー図とあと77ページの表現なんかもう少し丁寧な表現で記載のほうをお願いします。
2:26:49	以上になります。
2:26:51	業務にトガシでございますよういたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:57	規制庁のキシノですいませんちょっと4ポツのんでもう1点確認していることがあるんですけども、79ページですね直下のPS検層データの速度場、設計地盤モデル＝
2:27:12	例えばこの前コンシューマーいずれかもしんでこういうものについてはということなんです、鉄塔直下のPS検層データっていうものも
2:27:23	当然ばらつきがあるかと思ひまして、直下で複数のデータがあったら平均のプラマイ湾 <small>（湾）</small> というものも当然本心とどまらない話なんですけども、ばらつきというのがあるかと思うんですが、これそのちょっとデータのそのばらつき度合い、Q＝しないで、
2:27:41	直下のデータをダイレクトに設計地盤モデルのプラマイ宇和島と比較していることについて、
2:27:48	ほかのばらつきについてはどのように、の考えなんでしょうか。
2:27:58	直のばらつきを考慮しないでいいという考え方について、すみません言葉で説明していただきます。
2:28:06	はい、日本原燃のオガセでございます。こちらなんです、例えばですけども、この今の燃料加工建屋のピット、
2:28:13	通しのページの122ページからをちょっとご覧いただければと思います。
2:28:19	ここで1223を
2:28:22	456ですかねというところで、この燃料加工建屋で複数の直下孔がありますよというところがございますが、それぞれの一つ一つの講義に対しましてこの±は0を超えているかというところで確認いたしまして、これでもっての影響評価の対象建屋として前項をちゃんと確認した上で、
2:28:41	評価対象を選定するということになっておりますので、こういった単独のものをやっておりますのでから、
2:28:48	評価対象の線形としては一番広く選べるような形での対応になっているというふうに考えております。これに対してのばらつきにつきましてはこの後MOX燃料加工建屋が選定された後の実際に評価するための直下の地盤モデルを作る際に当然こちらの5項のばらつきについては考慮していくというそういった流れで実施しております。
2:29:08	ので評価のやり方としては問題ないというふうに考えております。以上です。
2:29:13	それとですね。わかりました。／複数あるものについてはすべて比較した上でモリノないということを確認しているという考え方ということなんですけど、直下がない場合もあるのはどうも近傍の一つでも評価しているような場合、
2:29:30	どうぞについては、そういったものを作ったっていうのは考慮できてないと思うんですが、それについてはどう考えてるんでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:43	日本原燃のオガセでございます。おっしゃる通りでございます。おっしゃる通りというのは、この直下近傍とか直下で一行しかないものにつきましてはその一行だけでの比較をしているというところでございます。ただ今回のこの±3を少しでも超えればというところで我々としてはこの選定の
2:30:01	1000人にしておりますので結果としてはこれも少しでも超えると選定していただきますのでさらにその直下モデルを評価する際には、ばらつきとしての設計を地盤モデルに考慮しているばらつきを考慮して影響評価のほうやっているというところですので、こちらにつきましては単独の栄光しかないからといって評価から抜けるですとか、ばらつきを見ないことになるといった、
2:30:21	そういうようなことにはならないというふうに考えている次第でございます。以上です。
2:30:27	既設のキシノです。考え方はわかりました。これちょっと説明として追加をしていただくようお願いします。以上です。
2:30:36	日本原燃オガセですかこまりました。
2:30:47	規制庁タケダです。4ぽつ4その他ございますでしょうか。
2:30:54	よろしいでしょうか。では、5ポツのまとめでございましたらお願いいたします。
2:31:03	規制庁ハバサキです。
2:31:06	これ記載だけの問題なんですけれども、まとめの最初の最後のポツのところへ提供平均評価の結果決定権がないことを確認したっていう
2:31:18	文章になってますんで、これはまだ結果すら出てない状況でこの文章を公開の資料で出すということは、ちょっと原燃の資料をにしてこういう傾向があるんですけれども、やはり
2:31:31	この段階でわかった、まとめにするように今後気をつけてもらいたいというふうに考えます。
2:31:38	いかがでしょうか。
2:31:40	日本原燃のオガセでございます申し訳ございません今回ちょっと結果ありきの書きぶりになってしまっておりますので今後きちんと気をつけて参りたいと思います。以上です。
2:31:52	規制庁ハバサキですこれまでも幾つかの資料でこういう勇み足的なところがありましたので、今の注意するようにお願いします。以上です。
2:32:08	その後、規制庁側からございますでしょうか。
2:32:16	規制庁カミデです。ちょっと資料の、また体裁的なところなんですけど、110。
2:32:23	9ページ、済ます121ページからですかね、直下の商号直下の物性値と。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:32	農協照合結果があつてグラフが示されてるんですけど、ちょっとなかなか線だけで示されてもですね、判断がつきにくいところがありますので、あわせて表で数値を示すなどしてですね。
2:32:49	わかりやすい資料にしていただければと思いますがいかがでしょうか。
2:32:58	日本原燃のオガセでございます資料のわかりやすさの観点でこちらそちらのご指摘拝承いたしました。ちょっと時間がかかるかもしれませんがすいません、次回の提出に間に合うかわかりませんがそれ以降になるかもしれませんが班員のほうはさせていただくことで対応させていただきます。
2:33:15	はい、規制庁カミデです。
2:33:18	また、希望としてすべての数値がいるかといったそうでもなくてまたすべてのそのボーリング孔に対する、その結果が示されなきゃいけないかという、そういうわけでもないと思つてますその辺は説明の仕方、
2:33:33	代表例として、丁寧に代表で御説明してあとはその結果だけ示すというような形でも構わないと思つてますので説明の仕方も含めて考えていただければと思つてますのでよろしくお願ひします。
2:33:49	日本原燃のオガセです。ありがとうございます。THAI考えて対応の方させていただきます。
2:33:59	規制庁タケダです。それではの耐震建物 08 については以上とさせていただきますと思います。
2:34:08	それでは時等時間的に時間範囲語っているんですけど。
2:34:15	前の氷が
2:34:19	資料が四つあるんですけど。
2:34:25	どうしましょうかもう続けて行いますか、日本の規制庁コサクです。
2:34:31	休憩とってください。
2:34:33	承知しました。それでは休憩をとりたいと思つています。ただいま用地興奮ですので、より 15 分で再開でいかがでしょうか。
2:34:48	日本原燃了解しました。
2:34:50	それでは 4 時 15 分再開でお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:00:01	規制庁の武田です。それでは再開したいと思います。
0:00:06	次の資料は大変建物の中にでしょうか。こちらにつきまして事実確認を行いたいと思います。日本原燃の方から補足で説明が必要であればお願いいたします。
0:00:24	日本原燃のスガワラです。特段こちらから御説明で補足する内容はございません。以上です。
0:00:34	規制庁タケダです。了解いたしましたそれでは規制庁側から確認事項あればお願いいたします。
0:00:44	規制庁カミデです。まず4ページの冒頭なんですけど、この資料をもう飛来物防護ネット等含まれないと書いてあるんですが、
0:00:57	そうするとですね、このあと話をする耐震起電に書いてあるのかと思いきや、そこでも書いてないということなので、
0:01:09	どの、ここで対象外としたものをどこで説明するのかといったことについて説明してください。
0:01:20	日本原燃飲めとケースAと飛来物防護ネットに関しましては、オンスケジュール録音この後提出する予定になっております。ええと耐震建物23番で飛来物防護ネットに関する
0:01:35	その説明書を作成しておりますので、その中で説明させていただきたいと考えております。
0:01:44	はい。規制庁カミデです。それ以外のものはいかがですか。
0:02:00	すいません、日本原燃さんがですね、質問の趣旨を教えてくださいたくてそれ以外っていうところをどこを意識してるか教えてくださいませんか。
0:02:09	規制庁カミデ性と4ページ目の1ぽつ概要の3行目ですね。道道飛来物防護ネット並びに排気棟換気等が含まないというので堂々と廃棄等、あと、
0:02:25	換気塔ですね、について説明してください。
0:02:47	規制庁コサクですけど補足説明資料の構成もそうなんですけど。
0:02:52	そもそも添付書類をどういう構成で考えていて、その対応として補足はこうなりますとか、っていう
0:03:02	何か考え方があるような気がするんですけど。
0:03:06	それが何か伝わってこないの毎週聞く羽目になっちゃってる気がしていますね。
0:03:16	どういう作業なんですかね。
0:03:19	状況をまず説明してもらえませんか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:24	日本原燃のスガワラです。1 の関東関係につきましては、C12 社昨年の 12 月の申請時点におきまして、申請書のほうには具体的な記載がしてありませんでした。
0:03:42	扱いにつきましてロジックペーパーの系統最後のほうに少し書かせていただいたんですけれども、今後補正するに当たりまして、添付書類のですね耐震設計の基本方針、
0:03:59	の方で一関がCに関する記載をですね、
0:04:05	追記することですまず対応考えております。その上で、系統をそこに関わる部分の補足というのを各補足資料を出していくということで考えておまして、例えばどうどう、
0:04:22	でありますのであれば、次回の申請のタイミングで出していくということで考えております。
0:04:33	規制庁コサクです。
0:04:37	次に聞いたかったことも含めてなんか若干お話しされたので、
0:04:46	加えてお聞きしたいんですけど、一関東大ですね、特別扱いして補足説明する必要はあまり感じていなくて、
0:04:56	今言われたように、
0:04:58	添付書類のほうでこれの地震動も含めて全体どう取り扱うのかという方針を述べていただければ。
0:05:06	あとはその結果の説明というのを淡々とまとめていけばいいのであって、
0:05:12	なんでこれだけ個別の評価があるんですかねっていう感じがするんですよ。
0:05:20	今後、
0:05:22	添付書類の中で明示していくという関係からすると、現状、
0:05:27	添付書類をどう計算書をつけていくかっていう考えのもとに補足説明資料を突っ込んでいくということだとするとですね、今この 3 行目 4 行目で書かれているところっていうのが、今後の添付書類の扱いと整合していいのかどうかと。
0:05:46	いうことになって、
0:05:49	他の耐震の
0:05:52	その補足説明で書いていること。
0:05:57	これはこっちこっちっていうような整理ともうもう値。
0:06:02	今日の資料だと違っているような気もしているので、
0:06:07	結果、今後補正して起動するんですかねっていうところだと思うんですけど。
0:06:13	すみません。
0:06:15	取り止めないですけど、じゃ、どんな感じですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:20	日本原燃のスガワラです。先ほどちょっと言葉足らずだったかもしれないんですけども、現状の考えとしましては、系統添付書類の耐震設計の基本方針のほうで、
0:06:37	この一関東のこの鉛直の影響につきましては、その他の4地震のほうの強化のほうが基本的には支配的になりますので、
0:06:52	当評価上大きな影響はないという旨を基本方針のほうに経営計画とその上で、影響がないということについて、補足するという位置付けで、
0:07:09	各補足資料を出しておっきくというそういう位置付けかなということで、現状は考えておりました。
0:07:19	はい。
0:07:20	規制庁コサクですけど、影響がないというよりは包含して評価をするってということにはなぜできないんですか。
0:08:08	いよぎんのトガシでございます。今ほど客先からの御指摘のところはこの位置の関東の鉛直地震動をSsの中に一つ加えて評価を仮定しないのかというような御指摘との理解でよろしかったでしょうか。
0:08:25	規制庁、古作です。
0:08:27	そうともいえるし、違う方法もあるかもしれないですけど。
0:08:31	評価する項目には考えて話をしないと。
0:08:37	先ほどの直下と似てますけど。
0:08:40	別途考えますという話ではなくて、これもちゃんと評価をする。
0:08:46	ものとして許可出ていると理解をされていてですね。
0:08:51	別枠で整理をしましたということもなければ、店舗で
0:08:57	一言で済ますということでもないと思うんですね。
0:09:04	日本原燃のトガシでございます。こちらやはり今ほど多くサンプの話なんて取り入れ会合の中でも少時的なところで
0:09:13	例えばとかの検討のところの位置付けの整理といったところも含めたところで何を基本方針の中に組み込んでいってトレイを添付にしていくのかっていうところをやはり総合的にやはり区別していかないといけないというふうに思っております。
0:09:30	そういったところで考えますと、こちらの方というものを影響評価といったところで評価結果としても影響がないだけを記載するのではなくて、家庭といったところでもですねこの中で直下の位置付けと同様な形のほうですね、健全性
0:09:45	添付なりしていくっていうところが必要だというふうに思っておりますので、ですので、ほかのそういった添付今補足関係の方で整理しているものも含めてですねそういったものを購入額は0添付として取り扱っていくのかっていったとこ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ろですね共通の部分でもそういったところで、再度整理させていただいて御説明させていただきたいというふうに思いますのでよろしく願いいたします。
0:10:11	規制庁コサクです。
0:10:13	よろしく願いします。その入口として内容をまず説明するということでの補足説明だとは思いますが。
0:10:21	その上で添付書類であればこういう構成であるから補足説明はその対応でこういうふうにも取り組めてきますということだと思いたうんですけど、話を戻すとどう、
0:10:36	飛来物防護ネット配置等換気塔というのは、
0:10:41	全体としてどういう扱いにして、どういう書類として構成していくという考えに全体としてなってるのかを教えてください。
0:10:55	うん。
0:10:56	日本原燃等はしてございます。ちょっとこちらのほうの、今、私どもの頭の整理で整理して考えている内容としましては方針的な位置付けていたところは、各基本方針の中でこういった形の方で検討していくのかってところを、
0:11:12	基本方針の中で述べさせていただきましてその具体のこういった
0:11:18	今まとめている影響評価みたいなものにつきましては、個別の行動であったり、飛来物防護ネットないしのところですね各計算書の中でちょっと整理するといったところを今考えていたところでございます。
0:11:32	規制庁コサクですけど、東海 3 ちょっと。
0:11:36	頭がおかしくなっていて、
0:11:39	佐川さんにもう一度聞いてもらいたいたうんですけど、これを書類の構成っていうのは類型化を踏まえて作っていくっていうことになって、
0:11:49	今トガシさん言われているのは、
0:11:51	この労働飛来物防護ネット排気棟換気塔は類型化しませんって今言われたってことになるんですけど。
0:12:00	そんな方針で作業してるんですけど。
0:12:05	あ、すみません日本原燃佐川です。
0:12:08	コサクさんの御指摘の通りと考えてございまして、ちょっと起電設備等代表で言わせてくださいというところで、この本当以上関東ってところがこれ補足じゃないということになってくるとちょっと状況が変わるんですけど、これを例で言わせていただきますと、
0:12:24	現設備でどうまとめていくかってこの後の資料とかもすべてそうなんですけども、今今回別紙っていうところで、冷却塔出してますっていうところになってま

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	す。別紙以外のところじゃ次から出てくるところで、本当、別紙の 2 別紙の 3 というところで、冷却と一関逃がしていうところを、
0:12:43	評価したものとか検討したものとかどどんつなげていて、最終的に類型化のカテゴリの中で廃炉説明するというところで考えてございますので、先ほどのカミデさんとコサクさんの指摘に対しましては、配当が起電設備であれば、
0:12:58	規定の中で排気塔っていう等というところでまとめるのかなというふうに考えてございます竜巻防護設備というところで、先ほども時のほうが少し話しましたけど、竜巻防護設備というところでまとめていくのであれば、そこは竜巻防護設備でまとめ上げて、そこが一連の資料に入るのか。
0:13:16	保険の資料に入るのかということをお指摘しているのかなということで聞いてございました。以上です。
0:13:27	規制庁コサクです。問題認識は、そんな方向なんですけど、結局事実関係としてはどうなっていくんですか。
0:13:46	機器お待ちください。
0:14:59	規制庁コサクです。ちょっと待ってる間に
0:15:02	当課皆さんすいませんちょっと先走って私のほうで発言しちゃってますけど。
0:15:08	思ったことと違うところがあればこの後軌道修正をお願いします。
0:15:15	カミデです今までの部分については特に意見に相違はないです。
0:15:22	日本原燃にも聞こえてますか。
0:15:29	日本原燃下がりそう言ってます。
0:15:31	もう少し時間かかりつつだったら若干事実確認だけしたいんですけどよろしいですか。
0:15:38	よろしくをお願いします。
0:15:40	規制庁カミデです。
0:15:44	ページで言うと、
0:15:48	4 ページになるのかな。
0:15:54	先ほど言われたように一関東の鉛直っていうのが一よりも、平成数のほうが支配的だということが 4 ページに記載されているんですけど、実際に
0:16:10	ページで言うと 23 ページぐらいの結果を見るとですね、
0:16:16	その応答比率でいうと、一応超えてるようなものがあるって、何をもって支配的って言ってるのがよくわからなかったんですけど、ちょっとその点、認識を説明してください。
0:16:34	はい。日本原燃のスガワラです。もうこちらの考え方につきましては、基本的には他の系統Ssの複数歯を崩落した地震荷重を

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:49	考慮しておりますので大局的にはという意図でございました。実際細かく見ていくと先ほど御指摘のあったようなわずかに超えているような部分もございませので、こういったところにつきましては、実際の評価結果への影響っていうところも、
0:17:08	加味しても、問題ないということで確認をしているというふうにしてございます。
0:17:18	規制庁カミデです。この資料にそれを反映するのか、そもそも先ほどの前段の話でどう取り扱うのかを関係はあるんですけど、こういう説明をする場合は、評価でSsをどう扱っているのか包絡を使っているのか、それぞれ
0:17:38	で使ってそれぞれの波で評価したもののマークするようしてるのかとかですね、それも建物と機器とかで違うと思いますので、その辺丁寧に説明した上で、こういう観点で支配的なんだというような話をするようにしてください。とりあえず以上です。
0:17:58	はい。日本原燃スガワラです。はい。先ほどの範囲御指摘も踏まえまして、全体を整理した上で表現につきましても定例に記載するようにいたします。
0:18:18	規制庁のハバサキなんですがちょっと関連で、具体的に13ページの例えば結果で基準地震動Ssの結果っていうのは、これはどういう結果なんですか。Ss現場の包絡値ですか。
0:18:39	はい、日本原電のスガワラです。はい、Ss伝播の包絡値となっております。
0:18:46	規制庁ハバサキですね、ちょっとそこら辺の説明がないのと、あとこれ設計的な検討を最終的にするとなると、今これ基本係数の結果だと思うんですけども、
0:18:57	耐震評価上はばらつき、地盤のばらつき等を考慮したばらつきを考慮したものは最終的には設計地震力になるというふうに思いますけれども、そこら辺の扱いっていうのは、今考えてないんですか。
0:19:14	日本原燃のスガワラです。
0:19:18	実量としましてはこちらの基本係数での結果の崩落ということで同じ土俵で比較をしているというふうに今は整理しております。
0:19:33	規制庁ハバサキです現状は理解しました少なくとも今説明ですね21ページかな。そこら辺にですね、もう少し個々の実情を詳しく記載のほうはしておいてください。
0:19:48	よろしいでしょうか。
0:19:52	はい。日本原電スガワラです。はい、記載のほう注意するようにいたします。
0:20:04	規制庁ハバサキです先ほどの回答のほうはいかがでしょう。
0:20:11	日本原燃目とケースAと先ほどのあの竜巻防護ネットをですとか、配置等管理等に関する事項ですけれども、まずこちら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:22	建物構築物とまず整理しておりますのでその中でと竜巻防護ネット等を類ですね、類型化をした上で、と竜巻防護ネットを今回
0:20:34	安全冷却水連発B冷却塔の
0:20:37	飛来物防護ネットのを申請しておりますけれども、それ以外のと竜巻防護ネットにつきましても工事会での竜巻防護そういう類型化のもとで整理していきたいと考えてます。また通りにつきまして申す排気等は北換気等が次回の申請となりますので、
0:20:55	採れないにつきましても相当のっていう整理の中で整理説明させていただきたいと考えております。以上です。
0:21:10	規制庁カミデです狭でちょっと聞き逃したんですけど今竜巻防護ネットを次回でとおっしゃいました。
0:21:20	日本原燃目ときですけれども、今回申請しております安全冷却水B冷却塔の飛来物防護ネットにつきましては先般お話ししました通り、今後
0:21:34	一種の実証ベースで提出する予定としております。東欧飛来物防護ネットの補足説明資料の中で説明させていただきたいと考えております。それ以外の／飛来物防護ネットにつきましても、その測定と添付
0:21:52	この添付別紙としてAと説明をさせていただきたいと考えております。
0:21:57	説明は以上です。
0:22:02	規制庁カミデです。
0:22:07	まあ、竜巻防護ネットなり何をどこでどういう形で補足説明資料で示すのかというのは、
0:22:16	体系的な考え方として整理をしていただければと思います。
0:22:24	何というか、どうどうに関してもですね、すべて建物構築物と同じ補足説明っていうわけでは決してなくて、経営がなくてどうで、これらの項目まとめますということでもいいんですけど、そういった考え方をきちんと整理してこう言ってください。
0:22:50	日本原燃定数了解しました。
0:22:56	規制庁カミデです。そうということなので細かいところまではあまり確認をしないですけれどもまず1の関東については、そもそも申請をどうするかというところに位置づけるかというところから整理が必要なので、
0:23:13	そこをまた整理して説明してもらおうと。で、具体的には私は共通0607を踏まえた説明資料の時になるのかなと思うんですけど、そういう認識で合ってますかね。
0:23:36	すみません日本原燃の谷口です。共通の中でまとめてまとめさせていただこうと思っていたのは、書類全体に関わるような整理をするのはどうしようかとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	そういったところの内容かなと思っていましたが、ちょっと今回の件、実際のその地盤の評価っていうところに、
0:23:54	地震の評価というところに特化した内容かなと思いますので、私その 06 の拮抗受けて、それぞれの内容でまとめていくところというところに、最初の整理をしておいてその中でどういう書類の中に反映していきますっていうことを整理するほうがいいのかというふうに思いました。
0:24:11	いかがでしょうか。
0:24:13	規制庁込みです私もその認識で伝えていて具体的には耐震建物 04 シリーズの資料の中で確認する事項だと思ってますのでそういう理解でいいと思います。
0:24:29	日本原燃たりこちら数承知いたしましたそのように整理を進めさせていただこうと思います。
0:24:35	はい。規制庁カミデですので、その中で、この位置の関東とか先ほど野島もそうですけど影響評価を行うっていうものが幾つかあると思うんです。それについて、
0:24:50	それぞれ重みづけですと強化整合状の重みづけですとかあと耐震性の影響の重みとかもですね、それぞれ違うと思うんですけどそれらがそれらを踏まえてですね。
0:25:06	申請書なのか、補足なのかといった事項をどういうふうにするかという考えでそれぞれ反映させていくかといったことも、その耐震建物 04 の話をする中で一緒にお話しできればと思ってますので、その辺もきちんと整理しておいてください。
0:25:38	においてトガシございます。そちらの整理させていただきます。
0:25:44	はい、規制庁カミデです。その上で、そうなんですけど実際には先ほどの直下地盤の話とかはそれよりも先行で話を聞いて、会合で話をするということなので直下地盤の話をするときにある程度その全体的な考え方を説明できるよう、
0:26:04	いいということで少し前倒しになるかと思えますけどよろしく願います。
0:26:15	日本でどうしてございますということにいたしました。
0:26:23	規制庁タケダです。耐震建物を 12 のその他規制庁がよろしいでしょうか。
0:26:31	よろしければ次痙攣の資料なんですけれど、連れ廃炉前に
0:26:38	今先ほどから確認あった 050812 分 12 踏まえまして峠の方での対処方針等あれば、御説明いただけるでしょうか。
0:27:04	日本原燃としてございます。本日の資料といたしまして、
0:27:10	まず側面へ地盤側面ばねの適用性の部分に関しましては本日いただきました事項といたしまして、個別事項の押さえまして

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:23	こちらのほうの対処方針の改訂版のほうを提出させていただきたいというふうに思っております。
0:27:29	また地震応答解析におきます地盤モデルの物性値の設定に関しましてはこちら来集会競馬の法定数といったところになってございますので、結果をつけるとともに本日いただいている部分のコメント事項に対しまして、班員できる部分につきましては反映させていただきまして、資料の方。
0:27:48	ぜひさせていただきたいというふうに思います。また一応関東の鉛直の地震動の取り扱いの部分に関しましては、今ほど議論でございました資料の位置付けの整理を行ったところを明確にさせていただきましてその整理に基づきまして、
0:28:04	今後、内容のほうブラッシュアップして御説明させていただきたいというふうに思っておりますのでよろしくお願いたします。日本原燃は以上でございます。
0:28:16	はい、ありがとうございます。それでは耐震切れのほうの事実確認進みたいと思います。
0:28:23	最初は切れん 01 からでよろしかったでしょうか。
0:28:30	こちらからでは原燃の方から補足で説明がありましたらお願いたします。
0:28:38	はい、日本原燃佐川です。
0:28:40	耐震記念 01 というところで鉛直方向の浮き上がりというところになってるんですけども、これにつきましては、本当何度も資料出してまして、最初本当電力さんのものを二倍したようなもので作ってたところに対して、前回のコメントに大きくつつきましたのが、
0:28:58	本当体系的に示しなさいというところで今現在の資料が限定的になってますよねというところで、設計方針評価方針を踏まえた上で修正が必要だよという指摘いただきました。その修正に伴いまして、本当火線かなり効いてるんですけども、中身というところではそのような修正をしたというところが、
0:29:17	今回の資料の内容となっております。よろしくお願いたします。
0:29:25	規制庁タケダです。それでは規制庁側から確認事項ありましたらお願いたします。
0:29:34	規制庁カミデです。
0:29:37	特にコメントはなくてですね一応、
0:29:41	コメントした内容は運営されているかなと思います。以上です。
0:29:52	規制庁タケダですその他確認事項ございますでしょうか。
0:29:59	はい。ないようでしたら次の資料のほうですね、次は耐震起電 09 になります。こちら原燃から補足で説明が必要であればお願いたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:12	はい、日本原燃佐川です。こちらの資料も先ほどの資料と同様に、本当に何回か出していましたのも出してまして。でその中で前回についてコメントとしましてはSDに特化した記載になってるよねという実際の評価に大きくにおいては静的地震力困るでしょうというところを正しく書きなさいという指摘をいただきましたというところで、その修正
0:30:32	をしますというところにプラスアルファで、先ほどの体系的についていうところを上からかけなさいという指摘がありましたので、
0:30:40	先ほどの鉛直で受けたコメントにつきましてはすべての資料にフィードバックをかけたという点で言ってまして、この資料も大きく稼いが引かれてるところになってます中身については、ちょっと大きく変わってはいけないというところになってございます。よろしくお願いします。
0:31:00	はい、それでは規制庁側から確認あればお願いいたします。
0:31:09	規制庁カミデです。これについても特段コメントはないかなと思います。以上です。
0:31:21	はい規制庁武田です。はい。もうそういうことですので次の補足説明資料の確認に移ります。次が耐震起電 12 ですね。
0:31:32	こちらにつきまして補足で説明あればお願いします。
0:31:37	はい、日本原燃さんはですね、ちょっと中身の補足の前にちょっと体制的な補足というところになってございますんで、今回の資料につきましては、先ほどからちょっと話している主管部の方もたくさん隠して話をしますと、方針的なところにつきましては、点検全体としまして、
0:31:55	我々のほうで確認しております、実際の設備の内容というところにつきましては、施設課のほうで確認してるというところになってるというのが今後出て、
0:32:05	来る使用の特徴ポイントかなというところになってございます。
0:32:08	中身についても所属AREVA施設課の方でお願いします。
0:32:21	日本原燃片田でございます。この耐震記念 12 のほうなんですけれども、話の流れにつきましては先ほどの建物の 12 のほうと同じでございます、申請に用いた地震力と一関一見直ですね。
0:32:38	比較を行いまして、問題ないことを確認するという中身になってます結果につきましては、この 12 番の資料では安全冷却水P冷却塔の支持架構と東西の機器配管、
0:32:54	確認したんですけれども、一関東の方の地震力がこれ隠されていることを確認したという結果になっております。こちらのほうは補足説明資料ページ 1 ページに示す通りになってくださいということでございます。以上でございます。
0:33:14	規制庁タケダです。それでは規制庁側から確認事項があればお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:22	規制庁カミデです。これは先ほどの耐震建物の 12 と同じく、その位置付けの整理を必要なので、
0:33:32	それに準じて西縁再整理ということかと思えますけどそれを踏まえても一部コメントしておきますので、まずですね
0:33:46	かなりマスキング範囲が多く、
0:33:51	何を
0:33:52	説明されているのかなかなか難しいんですけど、
0:33:56	マスキングの考え方という形でですね、
0:34:02	資料まとめていただいて何度かヒアリングされてしてしてですねそのときの資料のほうの内容ともう少しそこがあるようなマスキングのされ方をするとお思いますけど、その点少し説明いただけますと、
0:34:19	そういう認識があるかということについて、
0:34:24	日本原燃の原田でございます。マスキングのほうでございますけれども、こちら海外の情報ということで、
0:34:33	でして、冷却塔のことだとわかる部分は紋切り型に判断していくと、マスキングだということございまして、そう、そう判断してマスキングするとお手元の資料の通りになってしまうと。
0:34:47	ただおっしゃる通りですねこれこれですとほんとに結論の部分までマスキングになってしまいますとも全然議論もできなくなってしまいますので、こちらにつきましては現在事務局と再度調整しております。
0:35:05	別途調整をしたTPPできるだけですねマスキングを外すように調整していく期待でございます。
0:35:15	規制庁カミデです。具体的には今年の 4 月 22 日の資料、
0:35:21	資料を受けてましてその 3 ページに、
0:35:26	文書や段落の塊でなくて非公開とすべき単語数値のみマスキングするというようなことがもうすでに書かれていますので、もうそこ等そこはある内容になってますので、きちんと対応するようにお願いします。
0:35:44	日本原燃の原でございます。承知いたしました。
0:35:48	規制庁カミデですね、あとその上でですね、余りにも本文の内容を本文側に内容がなくて、別紙に書いてあるような評価の考え方っていうのもかなり共通的な部分があると思えますので、
0:36:05	その辺を本文にきちんと書くようにお願いします。これ補足説明資料の本当に最初の方向としての 1 月か 2 月そこに話をした内容をもう 1 回してしまう形になってあれなんですけども、まずそういう原則的な作り方の考え方のもとにちゃんと本文にきちんと

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:25	全般的な考え方を書くという形で考えてください。ただどういう形で出すっていうのは最初に言ったようにそもそも一関東の位置付けというものを整理していくということでよろしくをお願いします。
0:36:42	日本原燃の原田でございます承知いたしましたの本文のほうに、まだまだ共通的な話をかけるとお思いますので、整理して示したいとお思います。
0:36:58	規制庁タケダです。その他確認事項ございますでしょうか。
0:37:05	はい、よろしいでしょうか。
0:37:07	それでは本日の資料の各事実確認は以上としたいと思います。最後に永代新規連の資料についても、対応方針について説明をお願いします。
0:37:23	はい、日本原燃佐川です。
0:37:25	資料でコメントいただいた内容としましては1ー関東っていうところで、これに対しましては起電に限らずで建物側も共通的なコメントをいただいておりますので共通06の考え方から展開してどう示すっていうところに対応していくっていうところに対応させてください。
0:37:42	ええと、この中で示していくということで理解してございますっていうのが1点、2点目としましてマスキングっていうところでちょっとそこ、ちょっと補足入るんですけども、昨日ですかね、いつから出した剛な設備っていうところだよ。
0:37:57	につきましては松木がおおむがかなりされてるところでそこについては今事務局に確認してございまして、そこは取れないというところを事務局から確認しましたので、来週のヒアリングにあたってはその辺の考え方も説明できるような対応をするということで体制を整えてますというところで、マスキングの御指摘も理解してございます。
0:38:14	そういうのが2点目になります。三つ目としまして等、今後この補足作中でまた同じようなコメントをいただいまして申し訳ないんですけども、別紙として展開していくものと、本誌に書くべきところというところが、ちょっと今まずまざってるというところなので、ここは今まで来れん石起電設備として、
0:38:32	以前として出してきた資料と同じような構成で作っていくっていうことで修正いたします。以上三つかなということで理解してございます。はい、よろしくお願います。
0:38:44	規制庁タケダです。ありがとうございました。はい。では全体を通しまして何か規制庁側からございますでしょうか。
0:38:56	規制庁ハバサキなんですけどちょっとスケジュール表を、について指摘したいんですけども24日付のスケジュール表でもいいんですけども、例えば今日の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:08	耐震建物の 12 と耐震起電 12 が同じ一行の中に収まっていますので、これ内容的に全く同時になるかわかりませんし、スケジュール管理上はですねこれを別々に
0:39:24	すべきというふうに考えますので同じようなのは耐震ですと波及的影響もその他建物があと機電側が同じ事業の入っていますんで、これ何か意図はあるんでしょうか。
0:39:42	日本原燃佐川です。一等したところとしては連続して説明しなければいけないというところでまとめてました。今ご指摘の通り資料の内容としては完全位置とは限らに限りませんので、一つの資料に、本当例えば別紙のところ建物を別紙 2 のところが起点と書くような場合は一つにまとめますけども、資料と
0:40:02	別々に出す場合はそこは分けるべきだと理解しましたので、御指摘の通り分けます。
0:40:09	規制庁幅だケース適切な判断でスケジュール管理の方法もお願いします。以上です。
0:40:19	日本原燃嵯峨です。了解いたしました。
0:40:22	規制庁タケダですね、そのほかございますか。
0:40:27	日本原燃から何かございましたらお願いします。
0:40:36	日本原燃の船越です。特にございません。
0:40:39	はい規制庁武田です。はい、ありがとうございますそれでしたら本日のヒアリングは以上とさせていただきますお疲れ様でした。
0:40:48	ありがとうございました。ありがとうございました。
0:40:51	確か。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。